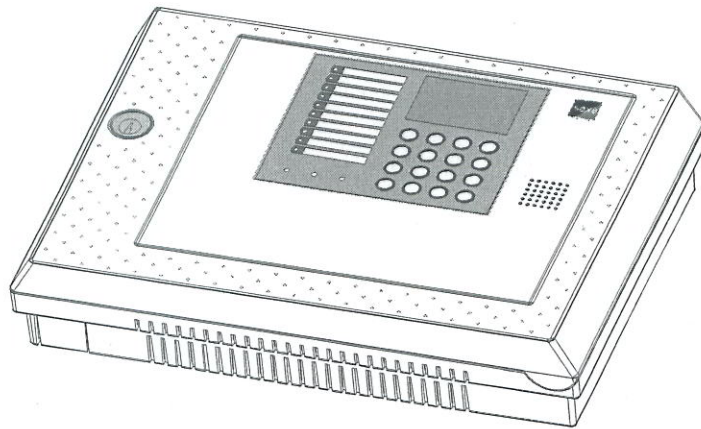


T **M** **T** **0** **8** **0** **2** **A**
S 送信機

工事マニュアル



平成 20 年 2 月 15 日発行

サクサ株式会社

はじめに

本書は、本装置を設置される業者殿、または販売店殿向けの工事マニュアルです。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

本文中のマーク説明



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この装置は、日本国内用に設計されています。電圧や電話交換方式の異なる海外では使用できません。
- 装置の設置時は、必ず本工事マニュアルに従って行ってください。
- お読みになったあとは、この工事マニュアルをいつでも見られる場所に、必ず保管してください。
- 本装置のご使用方法については、本装置の取扱説明書に基づきお客様に十分理解いただける様にご説明してください。
- 本装置の設置後は、本装置の取扱説明書の裏表紙のメモ欄に、警備会社及び販売店名連絡先など必要事項を必ずご記入ください。
必要事項のご記入が無いと、無償保証(1年間)を受けられない場合があります。



警告

- ◆装置の蓋を開けたり、分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・調整・掃除・修理は販売店、または、工事店にご連絡ください。
また、改造は法律で禁止されています（分解・改造された本装置は、修理に応じられない場合があります）。
- ◆AC100V/200Vの電源以外では絶対に使用しないでください。また、付属以外の電源プラグを使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ◆電源プラグは電源コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属等が触れると火災・感電・故障の原因となります。
- ◆電源のコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電・故障の原因となります。また電源のコードが傷んだときは（芯線の露出・断線等）販売店、または、工事店に修理をご依頼してください。
- ◆テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- ◆濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ◆本装置に水が入ったりしないようご注意ください。また、水滴がついたときは、乾いた布で拭き取ってください。万一、水が入ったときは、電源プラグを抜いてから販売店、または、工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- ◆本装置のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電・故障の原因となります。
- ◆本装置をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ◆ボイラーや加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ◆雷が激しいときは、電源コード、電話回線のコードに触れないでください。感電の原因となります。
- ◆本装置の開口部から内部に金属類を差し込んだり、押し込んだりしないでください。万一、異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いてから、ご契約されている警備会社、または、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・熱発生によるやけどの原因となります。
- ◆傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに設置しないでください。落下・転倒の恐れがあり、けがの原因となります。また、万一、落下、転倒により破損したときは、電源プラグを抜いてから、販売店、または、工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- ◆本装置のバッテリー寿命は約2年です。これを越えた場合は仕様に表示の停電動作保証時間が短くなったり、液漏れによる装置故障になる場合があります。（バッテリーの液漏れによる装置故障については保証いたしかねます。）本装置を設置してから2年以上経過した場合は、ご契約されている警備会社、または、販売店にバッテリーの交換をご依頼ください。（バッテリーは本装置専用のもを使用しています。）
なお、交換により取り外した電池は、交換作業を行った業者に引き取りをご依頼してください。
また、バッテリーは、火の中に投入したり、分解や加熱しないでください。火災・けがの原因となります。
- ◆万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店、または、工事店に修理をご依頼ください。

注意

- ◆本装置を壁掛けにするとき、本装置の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- ◆直射日光の当たるところや、暖房設備・ポイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- ◆調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ◆本装置の電源のコードを熱器具に近づけないでください。本装置の電源コードの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。
- ◆電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- ◆本装置を移動させる場合は、必ず電源プラグ、電話回線コードを抜いてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。
- ◆保守点検の際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。また通電中に行う場合は、感電に気をつけて行ってください。
- ◆本装置の信頼性を維持、確保するため、および使用者の安全性を確保するため必ず接地アースを接続してください。
- ◆本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。

—目次—

1. 概要編	1
1-1. システムの特長	1
1-2. システム構成	1
1-3. 各部の名前とはたらき	2
2. 工事編	4
2-1. 外形寸法図	4
2-2. 取り付け穴寸法図	4
2-3. 本体の取り付け	5
2-4. 送信機との接続	6
2-5. バッテリーの取り付け	10
3. 機能編	11
3-1. 入力/出力	11
3-2. 通報先/通報方式	11
3-3. 通報メッセージ	12
■特定コードの音声メッセージ表	13
3-4. 自己診断機能	13
4. 登録編	14
4-1. テンキーの説明	14
4-2. データ登録画面を表示させる（音声登録モードに入る）	15
4-3. データ登録を終了する	16
4-4. 音声通報の登録方法	17
4-5. 不定フレーズ録音	18
4-6. 各項目の概要と登録番号	20
4-7. 登録項目一覧	21
4-8. 登録項目の詳細設定	23
■1000. 基本項目	24
■2000. 通報先番号	25
■2001. 通報先その他	27
■3000. 着信制限	28
■5000. 定時/回線切替	29
■6000. 特定データ通報先	30
■7000. エリア	38
■9000. 接点入力	40
■12000. 接点出力	43
5. 保守編	44
5-1. 通報履歴の確認	44
5-2. 日時設定	45
5-3. 機器設定	46
5-4. データの初期化	47
5-5. 各種設定	48
6. 基本仕様	49
7. トラブルシューティング	51

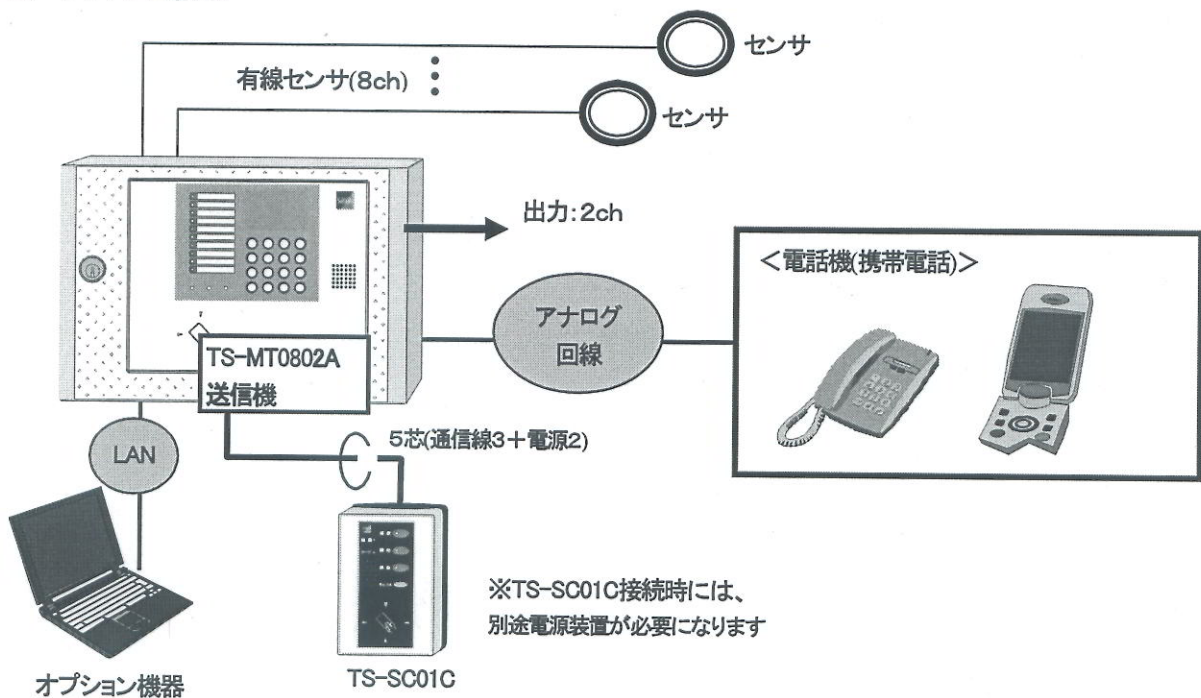
1. 概要編

本装置は、接続された各種センサから異常情報を受信し、予め設定された通報先へ電話回線を通じて音声通報を行います。また、着信応答時には、自己診断機能によりセンサーの状態、機器の状態を音声にて聴取することができます。

1-1. システムの特長

- ① 不定メッセージによる音声通報が可能です。メッセージは本装置で録音ができます。
- ② 着信応答時に自己診断機能により、センサの状態・機器の状態をモニタすることができます。
- ③ 外付けアクセスコントローラが接続でき、警備開始／解除操作が可能です。
- ④ LCD・テンキーを内蔵しており、各種設定内容の登録や履歴データの確認が可能です。
- ⑤ インターネット網経由によるメール通報が可能です。**別途登録器が必要です**

1-2. システム構成



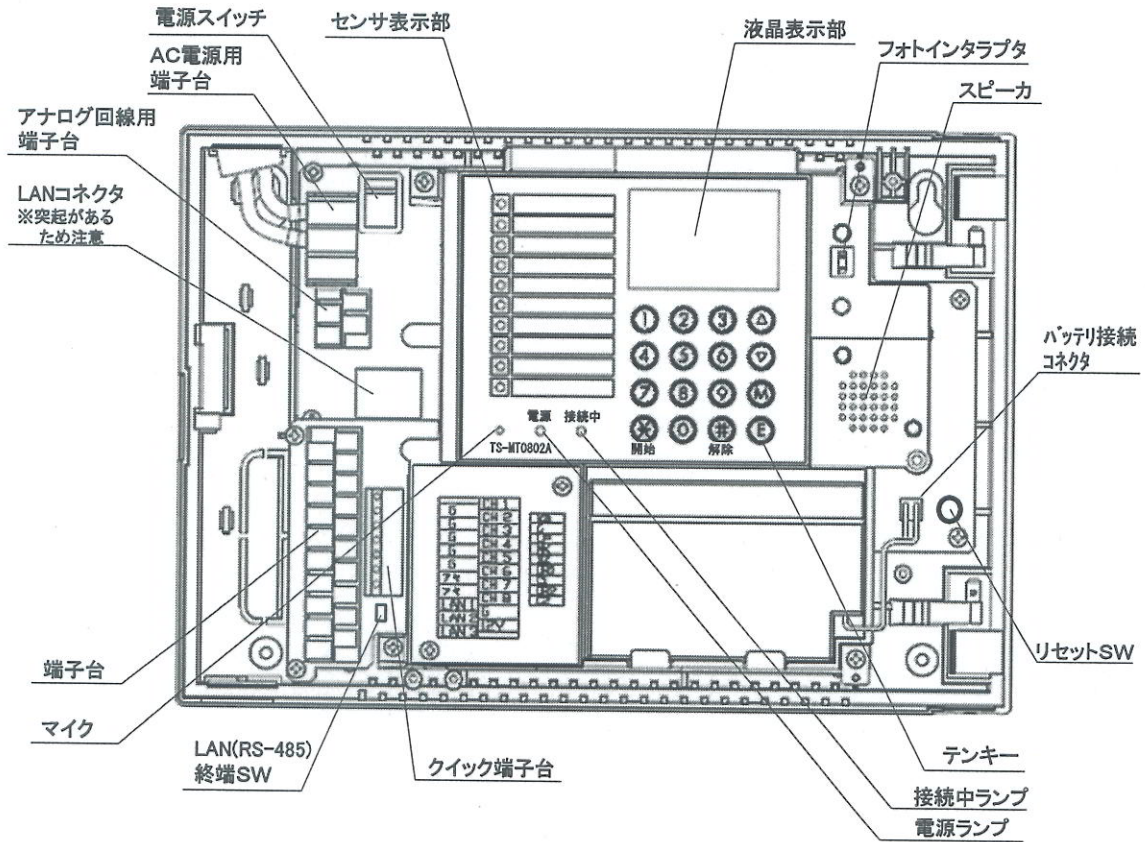
TS-SC01C の機器を使用する場合には登録器を使用しての登録になります

添付品	数量
鉛蓄電池(品名:FML1208)	1
電源コード	1
筐体開閉用鍵	2
注意差込紙	1
示名条片	1
壁掛け用ネジ 3.5-19	2
タイラップ	2

1-3. 各部の名前とはたらき

1) 各種表示部と内観図

※ LANコネクタのハウジング部分に突起がありますので配線時には注意してください。



2)各部の説明

名称	機能
センサ表示部(上位8ch)	センサの状況を表示します。 > 赤点灯:センサON表示 > 橙点灯:センサ閉塞中 > 赤点滅:センサ発報履歴表示(センサ検知後) > 消灯:センサOFF表示、または未登録状態 表示方式には、発報履歴表示とセンサ同期表示の設定が可能です。
センサ表示部(下位2ch)	> 緑点灯:出力ON表示 > 消灯:出力OFF表示
液晶表示部	本装置の動作状態や、操作ガイダンス等を表示します。
スピーカ	各種操作のガイダンス音声等を送出します。
テンキー	本体への登録時に使用します。
警備解除操作ボタン	本体操作による警備解除操作するときに使用します。
警備開始操作ボタン	本体操作による警備開始操作するときに使用します。
復旧ボタン(0キーと兼用)	センサ復旧後にランプを消灯させるときに使用します。
電源コード	電源コードです。
接続中ランプ	回線の接続状況を表示します。 > 消灯:待機中 > 緑点灯:回線接続中(モデム/音声/UUI/PB) > 緑点滅:発報閉塞中 > 赤点滅:回線断線中
電源ランプ	電源の状態を表示します。 > 緑点灯:通電中 > 赤点滅:停電中 > 緑/赤交互点滅:データ登録中 > 緑点滅:電池電圧低下発生、周辺機器書込み中 > 橙点滅:センサ全閉塞中
リセットSW	装置をリセットし、再起動します。
マイク	音声通報のためのメッセージ録音に使用します。
鍵	筐体を開けるための鍵穴です。

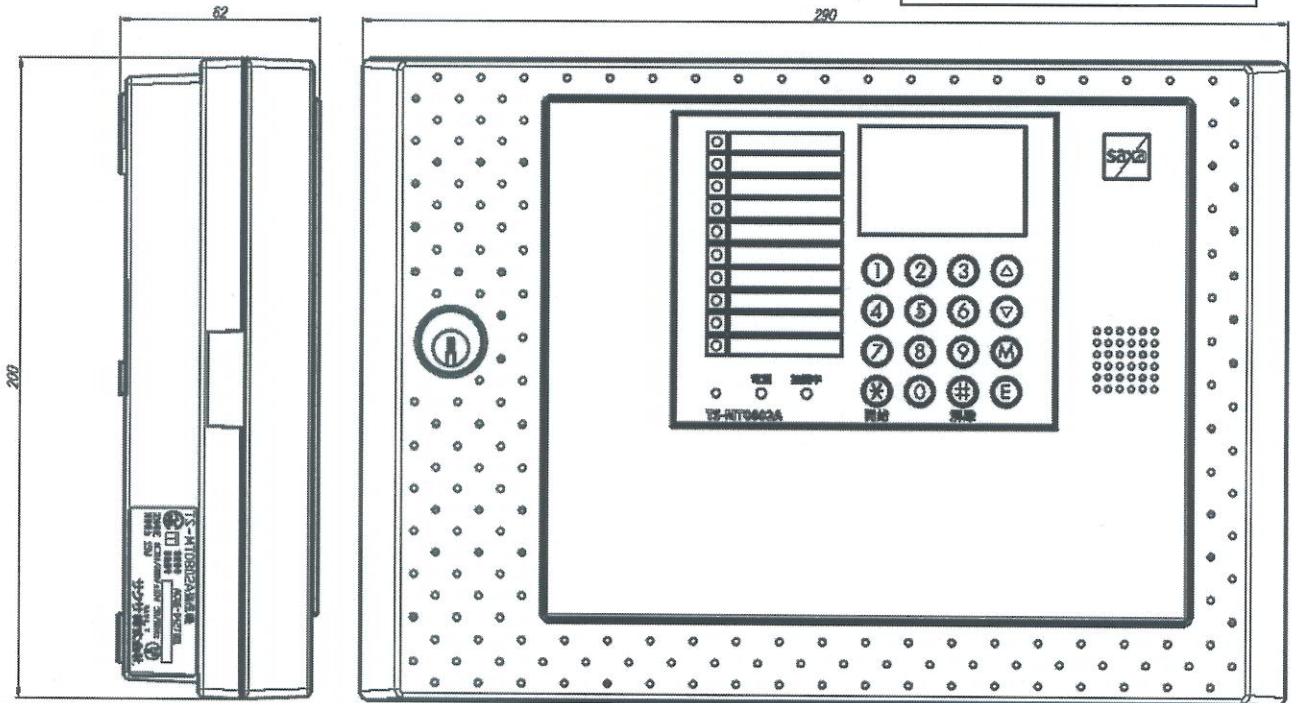
2. 工事編

本装置の設置時は必ず本マニュアルに従って行ってください。
配線工事中は、必ず電源をOFFにして行ってください。

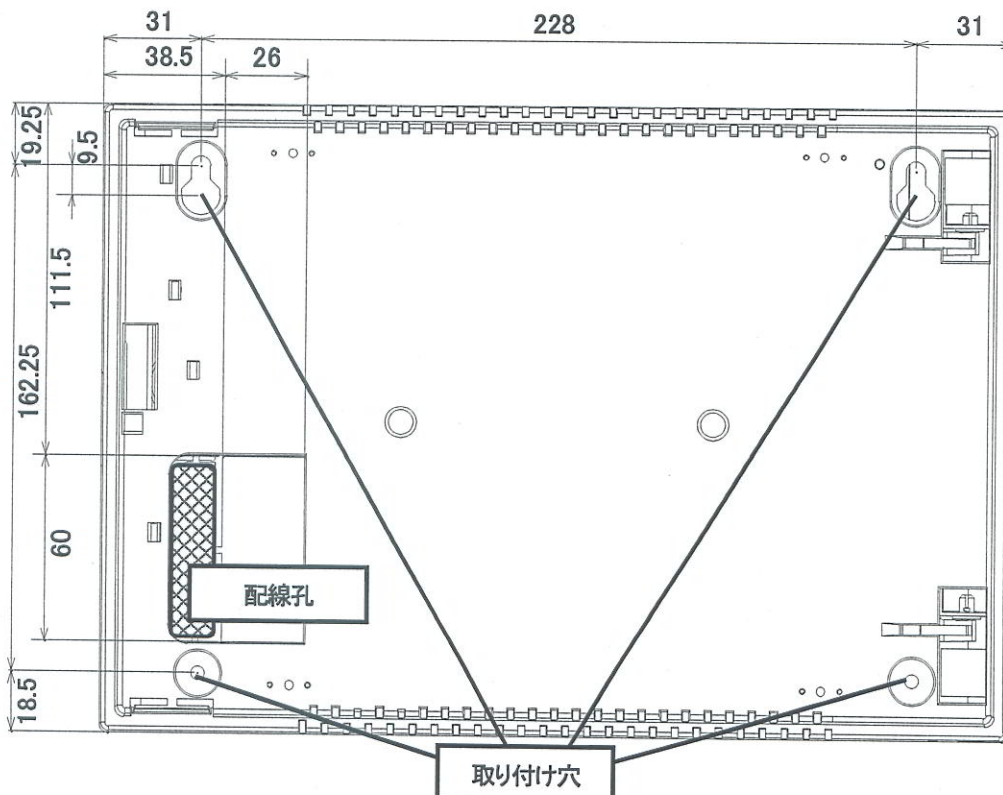
2-1. 外形寸法図

単位:mm

材質:難燃性ABS
色:ホワイト
重量:約1.6Kg(電池含む)



2-2. 取り付け穴寸法図



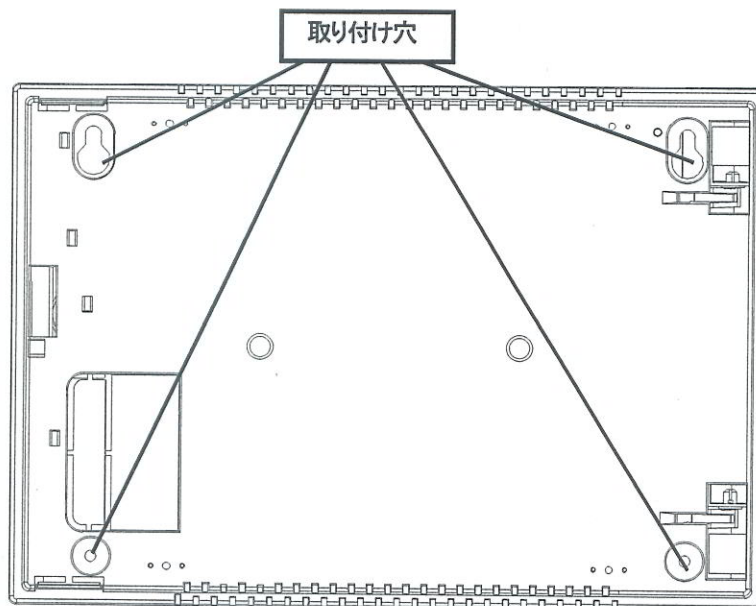
2-3. 本体の取り付け

本装置は、直接の壁掛け設置型です。

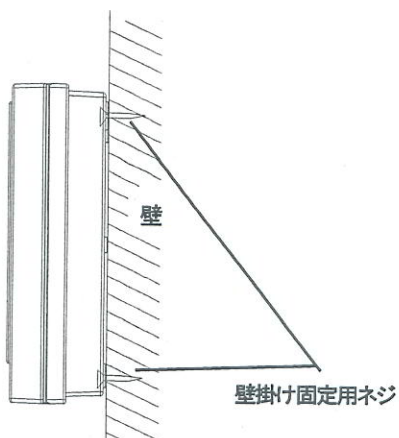
直接壁に取り付ける場合

- ① 本体を壁掛けする時は4ヶ所のネジ止めをします。最初に上部2ヶ所の取り付け穴にて固定(専用ネジを添付)してから下部2ヶ所の取り付け穴を利用し壁にネジ止めして下さい。
- ② 壁が木製の場合で、本体の重量(約1.6kg)を十分支える強度があれば木ねじ(PWM3.8-20F4 相当品)にて固定します。
ベニヤ・ボード等、強度が充分でない場合には補強工事を施してから本装置底板を固定してください。
(壁がコンクリートの時は、拡張用ボルト2本を打込み固定してください。)
- ③ 本体は壁掛専用となります。通常時の操作、および、保守点検時のことを考慮に入れ本体の下端は床面より130cmの距離を取ってください。また上端も50cm 空けるように設置してください。
下記の取り付け位置を参考にしてください。

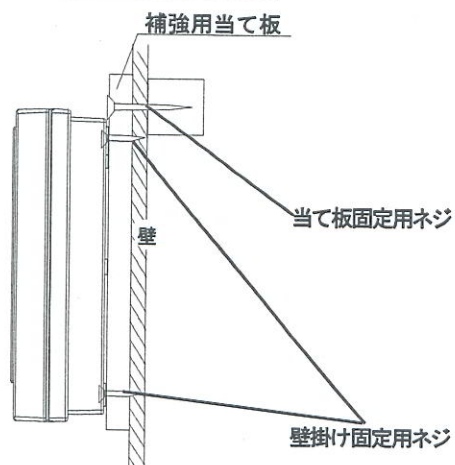
本体の下端と床面との距離や上端の距離が不十分な場合、交換等の取り外し時に工事が困難になりますのでご注意ください。



壁に十分な強度があるとき

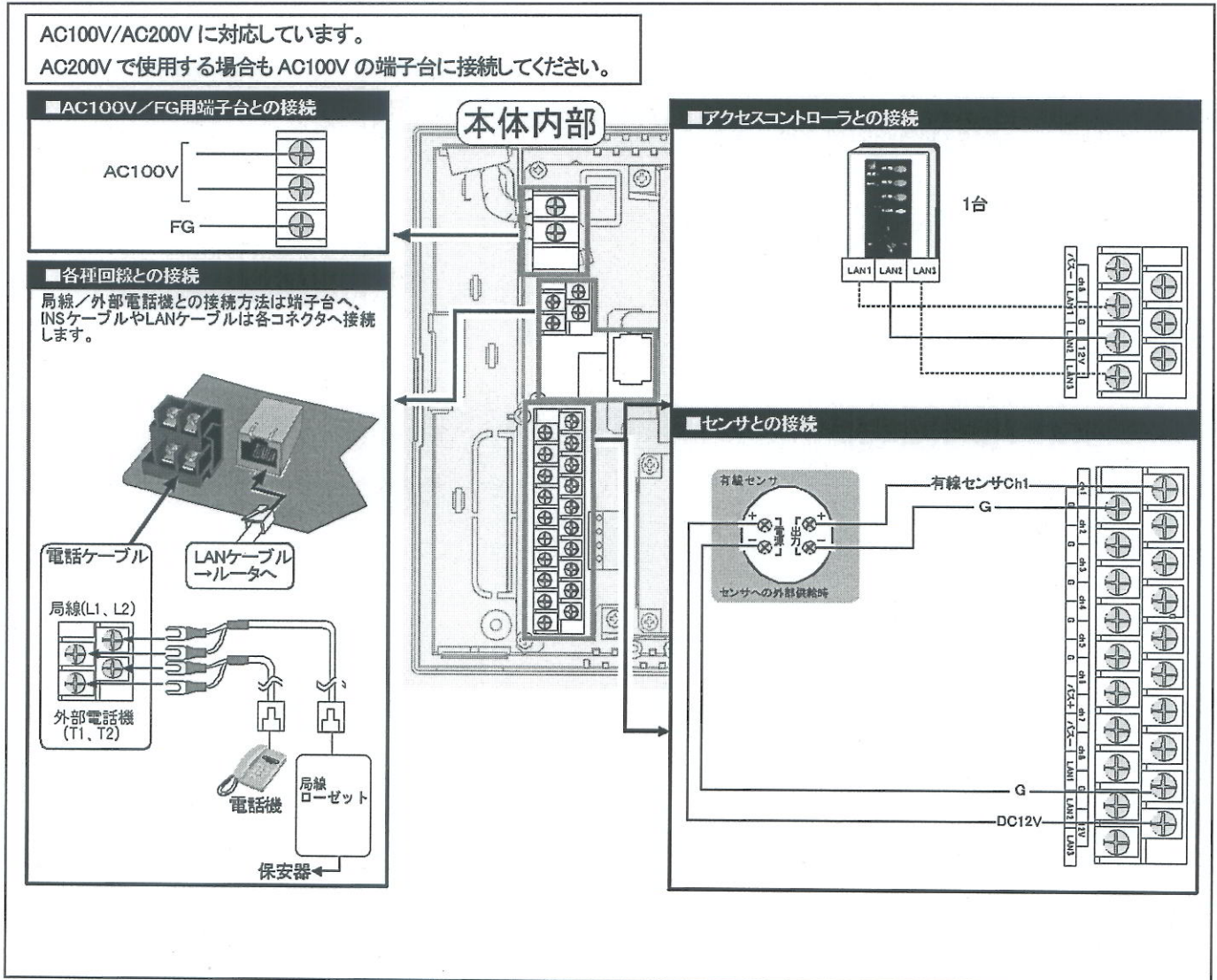


壁に補強が必要なとき



2-4. 送信機との接続

AC100V、電話回線(局線)、電話機、センサ等の接続は下図を参照の上、実施して下さい。



※アクセスコントローラを接続する場合には、別途増設電源装置が必要になります。

■配線における注意点

(1)配線に用いる電線は、次の通りとします。

- (a) 屋内配線は他の通信用配線と容易に識別できるものであり、心線径0.65~0.9mmPVC線または、これと同等以上の電線とします。
ただし点検できない天井裏、床下等に配線する場合はPVC屋外線を使用してください。
- (b) 屋外線は心線径0.9mm銅心入り線、PVC線、PVC屋外線、またはこれと同等以上の電線を使用してください。
- (c) 電源線AC100Vは心線径1.2mm以上のPVC線Fケーブルまたは、これと同等以上の電線を使用してください。
- (d) 接地線は2mm以上の軟銅ビニール接地電線、または、緑色ビニール絶縁電線を使用してください。

(2)入力信号ループ抵抗規格

入力信号ループの抵抗値は200Ω以下とします。

線径(mm)	距離(m)
0.65	1,700
0.9	2,800

(3)RS485通信線

- (a) RS485通信線はシールド線を用いて一筆書きで接続してください。スター配線の場合、動作保証いたしません。
- (b) RS485通信線の総延長距離は線径0.65mm、0.9mm共に1kmです。
- (c) RS485通信線は両端の装置のみ終端抵抗スイッチを「あり」側にしてください。
終端抵抗が複数の装置で「あり」側になっている場合は正常に動作しない場合がありますので注意してください。

(4)電源線

- (a) 電源(DC12V)は接続機器、配線距離が増えると電圧低下が発生します。

電源線(DC12V)の末端での電圧には十分注意してください。

また、本体から供給できる電源容量は300mA迄です。

300mAを超える場合は専用の増設電源装置(TS-PW122増設電源装置)を設置してください。

【参考】

アクセスコントローラ TS-SC01C : 約350mA

TS-MT0802Aから供給できる電源容量は、300mA迄ですので、アクセラコントローラ(TS-SC01C)を接続する場合は、専用の増設電源装置を設置してください。

※本装置とアクセスコントローラを接続し、同時に電源立ち上げを行うと、本装置の立ち上がりに時間(約20秒)を要するため、アクセスコントローラ側は、一時的に機器異常になりますが、本装置が立ち上がりと同時に通信を行い正常に接続できます。

- (b) 配線を行う際は必ず電源を切り、バッテリーを外してから行ってください。

- (c) 電源線(DC12V)を電源端子以外に接続した場合、装置を破損する恐れがありますので、十分注意してください。

(5)接地抵抗規格

接地用端子(FG)の対地アースは、第3種接地とし、接地抵抗値は100Ω以下としてください。

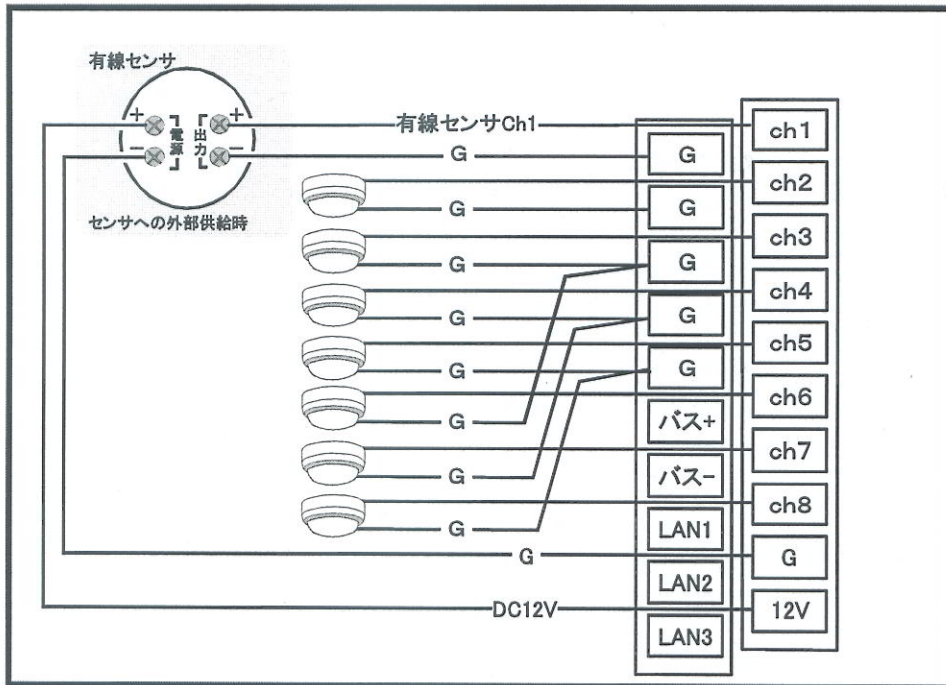
アースを接続しないと機器が故障することがあるので、金属接地棒等を使用して確実に接地してください。

尚、ガス管等を利用することは危険ですから絶対にしないでください。

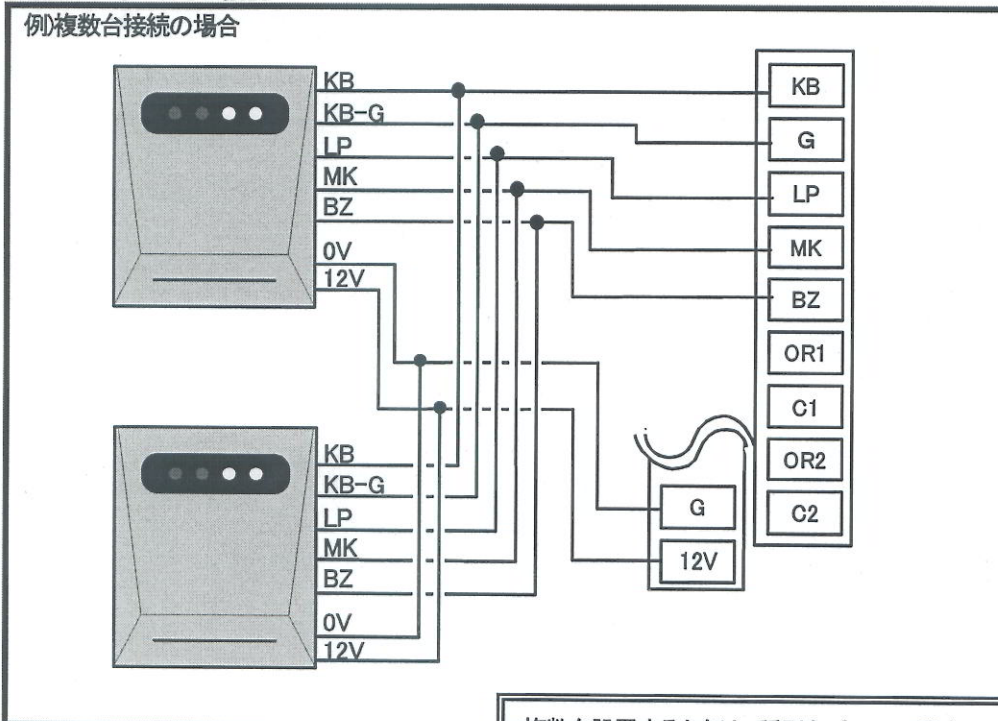
(6)その他

センサ及び局線等の配線は、交流電源とは極力離してください。工事配線で同一束線になったり、近接した平行線状態にならないようにしてください。

1. 有線センサとの接続

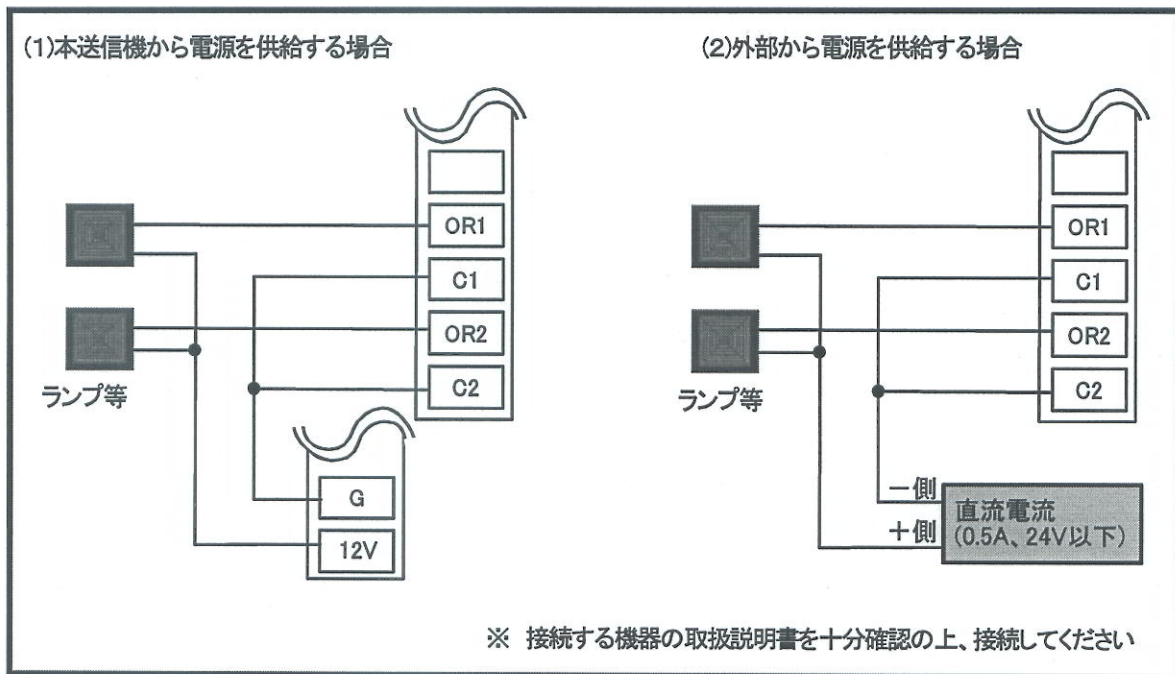


2. 接点型カードリーダーとの接続

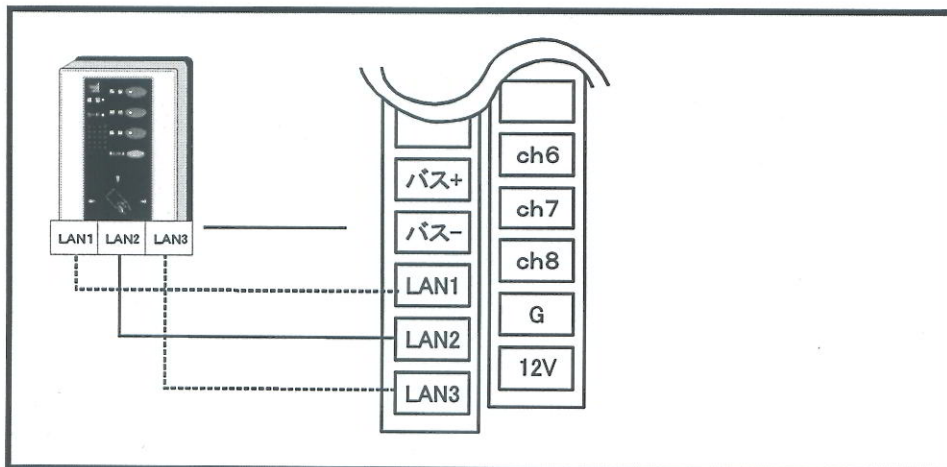


複数台設置するときは、種別をパルスに設定してください。
2台を目安とします

3. 警報(OR)出力との接続



4. 通信型アクセスコントローラとの接続



- ※ 通信型のアクセスコントローラの終端SWをONにしてください。
- ※ アクセスコントローラを接続する場合には、別途増設電源装置が必要になります。

2-5. バッテリーの取り付け

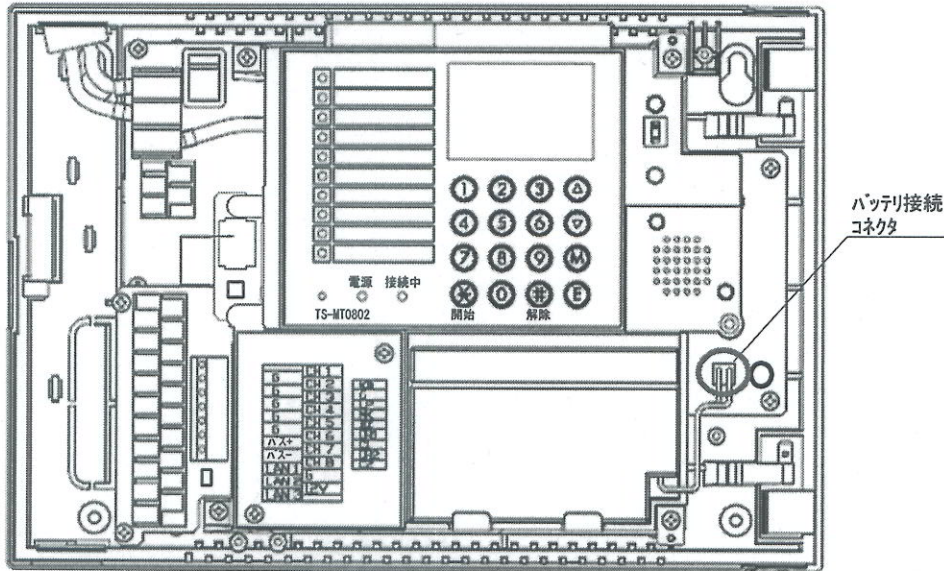
1. バッテリーの接続

バッテリーに付いているリード線のコネクタを、本送信機のバッテリー接続用コネクタに差し込んでください。

※ バッテリーが接続されていない場合、外部遮断の機能が動きませんので注意してください。

外部遮断発生時、負荷を取り除いた後に電源OFF-ONすることにより復旧します。

従来機のようなヒューズ交換の必要はありません。



- 1 : コネクタを逆に差し込みますと装置を破損しますのでご注意ください。
- 2 : バッテリーは上図の場所に表示が前面になるように正しく収納してください。
逆さに収納した場合、液漏れの原因となります。

2. バッテリーの交換

- ①交換の際は古いバッテリーを取り除いた後、交換用バッテリーを取り付けます。
- ②バッテリーのリード線についているコネクタの極性を合わせて差し込みます。

- 1: バッテリーは必ず専用のものを使用してください。
- 2: 電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにしてからバッテリーを接続してください。
電池劣化切り離し回路内蔵のため、バッテリー接続のみでの起動は行いません。

<使用しているバッテリーについて>

バッテリー交換は必ず“品名:FML1208、メーカー:古河電池”をご使用願います。

3. 機能編

3-1. 入力/出力

- (1) センサ入力 8ch(無電圧 メーク/ブレーク)
- (2) 昼夜通報切替入力 8ch目を昼夜切替入力として利用可能
- (3) SC入力(KB) 1ch(無電圧)
- (4) 外部出力 2ch(接点出力)

3-2. 通報先/通報方式

(1) 通報先数

最大4ヶ所まで設定できます。

通報先を最大4ヶ所登録する場合、チャンネル毎に通報先設定を行うことができます。

登録番号: 9000接点入力の通報先項目

●例: 1chはA. B. C、2chはB. C、3chはE

昼夜切替で、切替先として最大4ヶ所まで設定できます。(音声通報設定項目)

切替設定“あり”にした場合の8chのセンサ形態、入力状態で以下のように通報先が切替わります。

8チャンネルのセンサ形態	8チャンネルの入力状態	通報先
メーク	オープン	通常の通報先を選択
	ショート	切替通報先を選択
ブレーク	オープン	切替通報先を選択
	ショート	通常の通報先を選択

(2) 通報先呼出方式

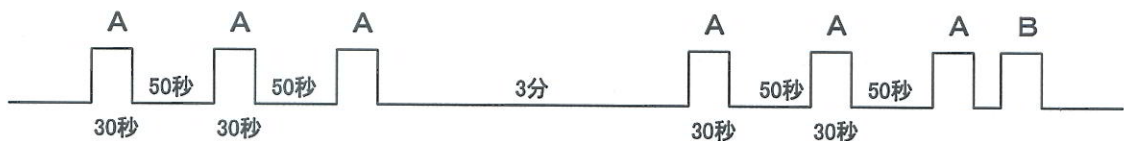
応答とは、メッセージを1回聴取後、回線が切断された場合に応答とみなします。1回以内に回線が切断されると再度呼び出し動作を行います。

① 応答終了

1ヶ所でも応答したら、通報を終了します。

通報先Aを6回呼び出し後、全て不応答の場合に、次の通報先Bに移ります。

通報先A: 6回 通報先B: 6回 通報先C: 6回 通報先E: 6回の順に通報を行い、すべて不応答の場合に、通報先Dに通報します

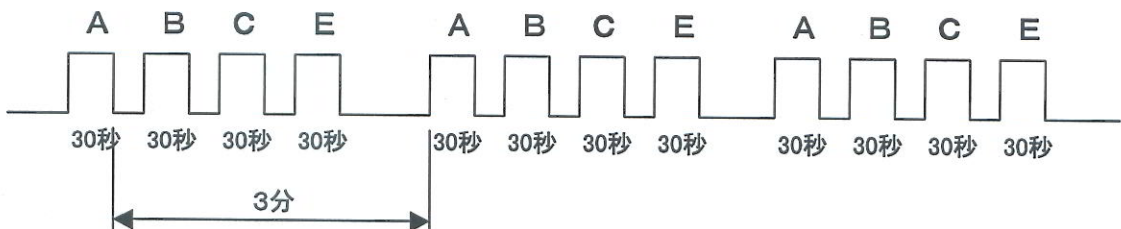


② 全通報

設定した全ての通報先に通報します。

通報先A⇒通報先B⇒通報先C⇒通報先Eの順に呼び出します。

通報先が全て不応答の場合に、通報先Dに通報します。



※ 通報先Aへ通報以後、同一通報先Aへ通報する場合、その間隔が、3分になります。

③ 自動ダイヤル切替機能

不応答通報先Dに通報後、全て不応答の場合には、登録番号2001のダイヤル自動切替を“あり”に設定されていると、回線種別(DP/PB)を切り替えて、全通報先に応答するまで、更に2回通報動作を行います。

(3) 1ヶ所への通報回数

再呼び: 2回、再起動: 1回で合計6回ダイヤルします。

(4) ダイヤル桁数(テンキーによる)

最大24桁まで可能です。“*”キーにて2秒のポーズが入力可能です。

(5) PB/DP設定

設定にてPB/DP(10/20pps)が設定できます。

(6) PBXの内線から局線発信機能(音声通報設定項目)

PBXにリバース機能を備えていない場合にも、設定により接続できます。

○ リバース“あり”設定の場合には、ダイヤル終了後リバース検知後メッセージを2回送出します。

○ リバース“なし”設定の場合には、ダイヤル終了後3秒後にメッセージを10回送出します。

3-3. 通報メッセージ

(1) チャンネル入力のメッセージ

顧客名称メッセージ(8秒)+8chのメッセージ(8秒)でセンサのメッセージを構成できます。

例1) 顧客名称メッセージがない場合(ch9登録)

センサON チャンネルメッセージ(不定)+発生しました。(固定)

センサOFF ... チャンネルメッセージ(不定)+復旧しました。(固定)

※ 復旧通報がない場合には、チャンネルメッセージのみの音声通報になります。

発生しました(復旧しました)のメッセージは、送出されません。

復旧通報なしは、チャンネル設定の中で“復旧通報なし”に設定します。

例2) 顧客名称メッセージがある場合(ch9登録)

センサON 顧客名称メッセージ(不定)+チャンネルメッセージ(不定)+発生しました。(固定)

センサOFF ... 顧客名称メッセージ(不定)+チャンネルメッセージ(不定)+復旧しました。(固定)

※ 復旧通報がない場合には、顧客名称メッセージ(不定)+チャンネルメッセージの音声通報になります。発生しました(復旧しました)のメッセージは、送出されません。

復旧通報“なし”は、チャンネル設定の中で“復旧通報なし”に設定します。

(2) 停電/停電復旧メッセージ

停電メッセージ.....顧客名称メッセージ(8秒)+停電しました。

停電復旧メッセージ...顧客名称メッセージ(8秒)+停電復旧しました。

※ 顧客名称メッセージが録音されていない場合

顧客名称メッセージ部分が『こちらは+“警備先物件ID”番です』になります。

警備先物件IDは、登録番号:1000基本項目で登録します。

◆停電検出時間は、1分間検出または300mS検出の設定が可能です。停電復旧は、4秒検出になります。

保守編の5-3:機器設定を参照願してください。

(3) その他の通報メッセージ

① 開始/解除通報メッセージ

顧客名称メッセージ(8秒)+“警備開始します”(“警備解除します”)

② その他の音声通報

『顧客名称メッセージ(8秒)+ 装置xx、チャンネル(コード)xx、xxです』

※ 顧客名称メッセージが録音されていない場合

顧客名称メッセージ部分が『こちらは+“装置ID”番です』になります。

※ 特定データコードの設定のあり/なしにより、通報のあり/なしになります。

登録番号:6000の特定データ通報先で設定します。

■特定コードの音声メッセージ表

特定データ名称	状態	メッセージ内容
定時		こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) ゼロ(0) が ゼロ(0)です。
電源オン		こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) イチ(1) が ゼロ(0)です。
停電	発生	こちらは、** ***** ****番です。停電しました。
	復旧	こちらは、** ***** ****番です。停電復旧しました。
タンパ	発生	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) ロク(6) が イチ(1)です。
	復旧	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) ロク(6) が ゼロ(0)です。
試験		こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ハチ(8) ゼロ(0) が ゼロ(0)です。
外部電源	遮断	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) ゴ(5) が イチ(1)です。
	復旧	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) ゴ(5) が ゼロ(0)です。
電池ニアエンド		こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) サン(3) が イチ(1)です。
警備	開始	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ロク(6) イチ(1) 警備開始します。
	解除	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ロク(6) イチ(1) 警備解除します。
	セットミス	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ロク(6) イチ(1) が二(2)です。
暗証番号エラー		こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ロク(6) ゴ(5) が イチ(1)です。
未登録カード操作		こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ロク(6) ロク(6) が イチ(1)です。
電気錠	施錠	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ** ロク(6) ハチ(8) が ゼロ(0)です。
	解錠	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ロク(6) ハチ(8) が イチ(1)です。
ノードエラー	発生	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) ヨン(4) が イチ(1)です。
	復旧	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) ヨン(4) が ゼロ(0)です。
電話機フック外れ	発生	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) キュウ(9) が イチ(1)です。
	復旧	こちらは、** ***** ****番です。装置**コード ナナ(7) キュウ(9) が ゼロ(0)です。

3-4. 自己診断機能

自己診断機能“あり”に設定すると、着信時、装置の状況、異常チャンネルの状況を音声にて聴取できます。
 装置状態は、メモリ状態が、正常か異常かで判断します。
 着信時の呼び出し回数の設定は、登録項目:3000。着信制限の解除中着信回数、開始中着信回数を設定してください。

例)

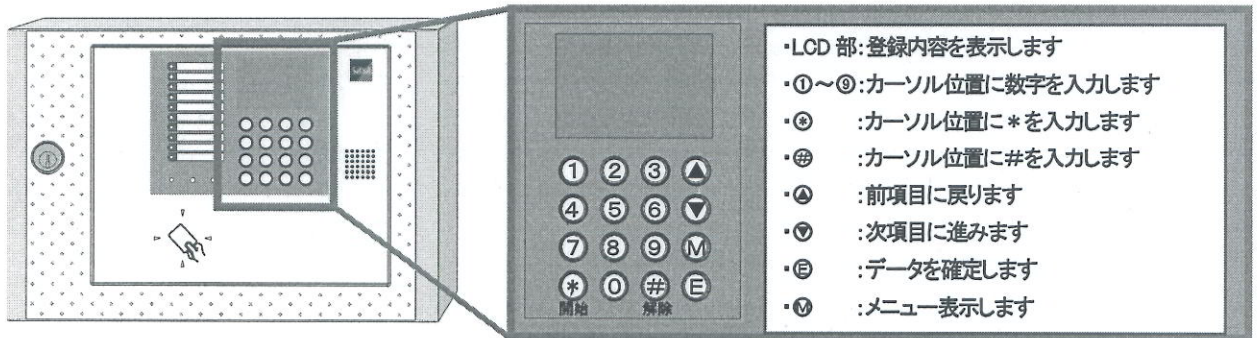
- ① 機器状態=正常(異常)、センサ状態=全て復旧状態
 『顧客名称メッセージ(9ch) + 装置復旧(装置異常) + チャンネル復旧』
- ② 機器状態=正常、チャンネル状態=チャンネル1、2発生中
 『顧客名称メッセージ(9ch) + 装置復旧 + チャンネル1フレーズ + チャンネル2フレーズ』

※ 顧客名称メッセージ(9ch)がない場合には、顧客名称メッセージ部分が『こちらは+“警備先物件ID”番です』になります。

4. 登録編

4-1. テンキーの説明

各種の設定・登録はテンキーのボタン操作で行い、8桁LCD表示で行います。
項目毎に確認しながらEボタンを押して設定してください。



以下に登録の流れを示します。

1. 音声通報の設定を行います

操作方法: M 釦⇒▼⇒保守表示⇒ E ⇒暗証番号:00000001⇒ E ⇒▼⇒登録表示⇒ E ⇒音声通報⇒ E

- ① 音声通報設定……………あり(必須)
- ② 自己診断応答機能……………使用する場合は、“あり”設定にします
- ③ 音声通報のリバース……………あり(必須)※内線で応答時リバースがない場合は、“なし”設定にします
- ④ 通報切替機能……………使用する場合は、あり(昼/夜切替)
- ⑤ 通報切替通報先……………④を“あり”に設定した場合に通報先を設定します
- ⑥ 通報方式A/B/C……………④を“あり”に設定した場合に音声に設定します

2. 装置ID、電話番号、回線種別、チャンネル情報の設定を行います

操作方法: M 釦⇒▼⇒保守表示⇒ E ⇒暗証番号:00000001⇒ E ⇒▼⇒登録表示⇒ E ⇒ 登録番号

- ① 登録番号:1000……警備先物件ID、回線種別を設定します
- ② 登録番号:2000……通報先電話番号A～E、通報方式A～C(9:音声)D, Eは音声のみ
- ③ 登録番号:3000……開始時/解除時の着信回数を設定します。自己診断機能を使用する場合に設定します
- ④ 登録番号:6000……停電/停電復旧通報を行う時に設定します
- ⑤ 登録番号:9000……チャンネル設定を行います。メーク/ブ레이크、検知時間等の設定を行います。
- ⑥ 登録番号:12000……出力設定を行います

3. 音声録音を行います(各種登録の操作方法とは異なりますので注意願います)

操作方法: “1”キーを押下しながら、電源を立ち上げます。(または、リセットボタンを押下します。)

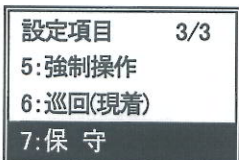
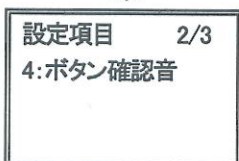
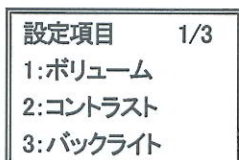
※【不定フレーズ録音】の表示が出るまで、“1”を押したまま、しばらくお待ちください。

録音、再生、削除のメニューから、各チャンネルの音声録音を行ってください。

チャンネルメッセージ:8種類(最大8秒)と顧客名称メッセージ(ch9):1種類(最大8秒)が録音できます。

※ ch9のメッセージを録音すると、センサ通報時に顧客名称メッセージ(ch9)+チャンネルメッセージになります。
また、停電発生/停電復旧メッセージは、顧客名称メッセージ+停電しました(停電復旧しました)になります。

4-2. データ登録画面を表示させる（音声登録モードに入る）



① 通報動作を行っていないことを確認して下さい。
通常画面が表示されていることを確認してください。(出荷時状態)

② **M** ボタンを押します。

③ **V** **A** ボタンで項目『7:保守』にカーソルをあわせませす。

④ カーソルをあわせたら **E** ボタンを押してください。

暗証番号の入力を要求されますので“00000001”を入力し **E** で確定します。

保守メニュー認証の操作方法

設定	2:暗証
操作 『7:保守』に カーソルをあわせ E ボタンを押します	
暗証番号を入力し E ボタンを押します	
保守メニューに 入ります	

保守	1/3
1:点検	
2:登録	
3:履歴	



登録
1:登録
2:カード登録
3:音声通報



登録番号を 入力して下さい

⑤ ボタンで項目『2:登録』にカーソルをあわせ ボタンを押してください。

登録選択画面に入ることが出来ます。

⑥ 登録メニュー画面

⑦ ボタンで項目にカーソルをあわせ ボタンを押してください。

登録設定画面に入ることが出来ます。

⑦ 『3:音声通報』にカーソルをあわせ ボタンを押してください。

他項目を登録する場合は『1:登録』にカーソルをあわせ ボタンを押してください。
登録内容の一部を変更する場合は、登録番号を入力して、 ボタンを押してください。

登録番号は、P. 23～25 参照願います。

4-3. データ登録を終了する

登録番号を 入力して下さい

① 登録完了後 ボタンを押します。

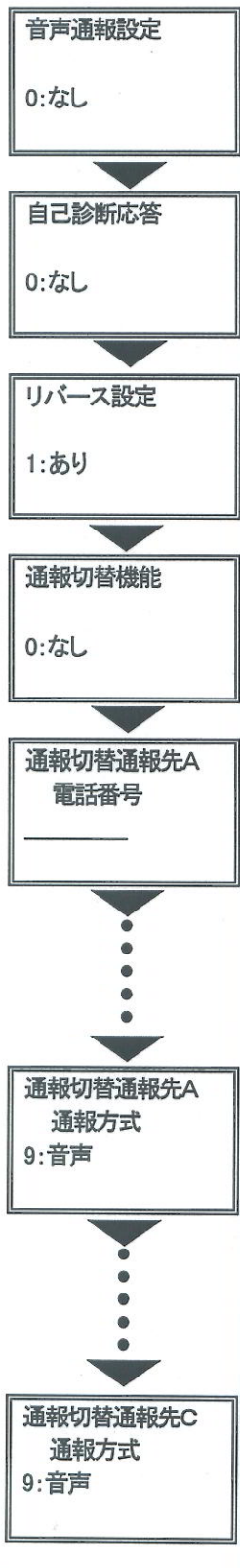
更新しますか?
0:いいえ
1:はい
M:戻る

② 更新確認表示をしますので、『1:はい』を選択します。

登録データ 更新中です しばらく お待ち下さい

③ 更新中の表示をします。通常画面に戻るまでしばらくお待ちください。

4-4. 音声通報の登録方法

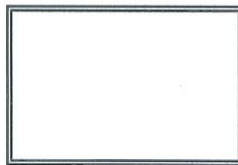


- ① 音声通報設定を行います。
0:なし 1:あり
※録音した不定フレーズによる音声通報を行う場合は、“1:あり”に設定します。
音声通報設定が“1:あり”で回線種別がアナログの場合、②～⑥の設定が有効になります。
- ② 自己診断応答を設定します。
0:なし(着信応答後、モデムによる通信を行います)
1:あり(自己診断機能で着信応答し、切断します)
- ③ 音声通報のリバースを設定します。
0:なし(ダイヤル終了後、3秒経過後メッセージを出力します)
1:あり(リバース検出でメッセージを出力します)
- ④ 通報切替機能を設定します。
0:なし
1:あり(センサ8chの状態では通報先を切り替えます)
※8chの状態により、下記の通報先に通報されません。
- ⑤ 通報切替通報先A～E
通報切替通報先A～Eの電話番号を設定します。
- ⑥ 通報切替通報先A～Cの通報方式を選択します。
9:音声に設定します。

8chのセンサ形態および入力状態での通報先について

8チャンネルのセンサ形態	8チャンネルの入力状態	通報先
メーク	オープン	通常の通報先を選択
	ショート	切替通報先を選択
ブレーク	オープン	切替通報先を選択
	ショート	通常の通報先を選択

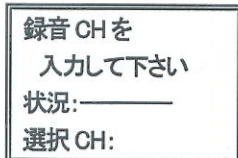
4-5. 不定フレーズ録音



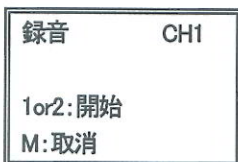
①“1”キーを押下しながら電源を立ち上げます。(または、リセットボタンを押下します。) 不定フレーズ録音の表示が出るまで“1”を押したままお待ちください。



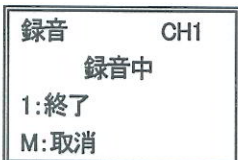
②不定フレーズ録音 画面を表示します。
 “1”を選択します。⇒ ③
 “2”を選択します。⇒ ⑨
 “3”を選択します。⇒ ⑩



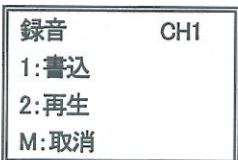
③録音チャンネルを選択します。
 選択CH 1~8 ⇒ センサチャンネルを表します。
 選択CH 9 ⇒ 顧客名称を表します。
 ※ 状況表示部分に数字が表示されているものは録音済みです。
 再録音するには、②の画面から録音データを削除してください。
 “M”キー押下 ⇒ ②の画面に戻ります。



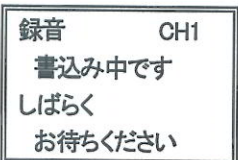
④音声を録音します。
 “1”または“2”キー押下 : 録音を開始します。
 2キーは、録音レベルが上がります。録音時間は最大8秒です。
 ※録音した秒数のみ音声を再生します。
 “M”キー押下 : ②に戻ります。



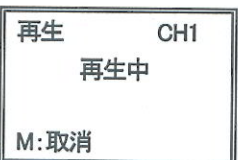
⑤音声録音を開始します。
 “1”キー押下 : 録音を終了します。
 “M”キー押下 : ③の画面に戻ります。



⑥録音結果を設定します。
 “1”キー押下 : メモリに書き込みます。⇒ ⑦
 “2”キー押下 : 録音内容を再生します。⇒ ⑧
 “M”キー押下 : 録音内容を破棄します。⇒ ③



⑦録音データを書き込みます。
 書き込み画面終了で②に戻ります。



⑧録音内容を再生します。
 メッセージを再生後 ⇒ ⑥画面に戻ります。
 “M”キー押下 : ⑥画面に戻ります。

再生 CH を
入力して下さい
状況: _____
選択 CH:

⑨再生を行います。

再生するチャンネル番号を入力します。⇒ ⑩画面へ移ります。
チャンネル番号は、状況に数字が表示されたものが対象になります。
対象外のチャンネル番号を入力すると“エラー”表示を行います。
“M”キー押下 : ②画面に戻ります。

再生 CH1
再生中
M: 取消

⑩再生中表示

メッセージ再生後 ⇒ ⑨画面に戻ります。

“M”キー押下 : ⑨画面に戻ります。

削除 CH を
入力して下さい
状況: _____
選択 CH:

⑪録音内容を消去します。

削除するチャンネル番号を入力します。⇒ ⑫画面へ移ります。
チャンネル番号は、状況に数字が表示されたものが対象になります。
対象外のチャンネル番号を入力すると“エラー”表示を行います。
“*”キー押下 : 全フレーズの選択となります。
“M”キー押下 : ②画面に戻ります。

削除 CH1
0: 削除
M: 取消し

⑫削除選択画面

“0”キー押下 : ⑬画面に移ります。

“M”キー押下 : ⑪画面に戻ります。

削除 CH1
削除中です
しばらく
お待ちください

⑬削除中画面

削除後、②画面に戻ります。

4-6. 各項目の概要と登録番号

■ 基本項目の登録【登録番号=1000】

警備先物件ID／名称、回線種別、自己電話番号、通報動作モードの設定を行います。

■ 通報先電話番号の登録【登録番号=2000】

通報先の電話番号の設定を行います。(通報先 A～E まで設定します。)

■ 通報先その他の登録【登録番号=2001】

定時通報の手段、ダイヤル自動切替、特定データ通報時の通話を優先するかの設定を行います。

■ 着信制限の登録【登録番号=3000】

送信機側で自動着信させる場合の設定を行います。

警備開始／解除中の着信鳴動回数、ナンバーディスプレイ契約回線かどうかを登録します。

■ 定時／回線切替の登録【登録番号=5000】

定時通報、回線切替の設定を行います。

■ 特定データ通報先の登録【登録番号=6000】

各種特定データの通報先・メール通報先の設定を行います。

■ エリアの登録【登録番号=7000】

エリアの登録をします。

■ 接点入力の登録【登録番号=9000】

有線センサ関連の設定を行います。

■ 接点出力の登録【登録番号=12000】

接点出力関連の設定を行います。

4-7. 登録項目一覧

1000:基本項目
警備先物件 ID 警備先物件名称 回線種別 自己電話番号/サブアドレス 通報動作モード
2000:通報先電話番号
通報先 A~E 電話番号/サブアドレス 通報先 A~C 通信方式
2001:通報先その他
定時発 ID 送信 ダイヤル自動切替 特定データ通話優先
3000:着信制限
解除中着信回数 開始中着信回数 ナンバーディスプレイ
5000:定時/回線切替
定時代表/エリア別 回線切替有無 回線切替暗証番号 接点キーボックス種別 回線断線中セット制限
6000:特定データ通報先
警備開始/解除/セットミス 強制開始/解除/セットミス ホールドアップ解除 暗証番号エラー 未登録カード操作 電気錠施錠/解錠/ホールドアップ解錠 現場到着 定時 電源オン 停電発生/復旧 電池ニアエンド ノードエラー発生/復旧 外部遮断発生/復旧 タンバ発生/復旧 通信異常発生/復旧(バスセンサ) 全閉塞開始/終了 メモリエラー/登録エラー 電気錠ドア異常発生/復旧 電話機フック外れ発生/復旧

特定データ通報先 ~つづき~
警備開始/解除/セットミス -メール- 強制開始/解除/セットミス -メール- ホールドアップ解除 -メール- 暗証番号エラー -メール- 未登録カード操作 -メール- 電気錠施錠/解錠/ホールドアップ解錠-メール- 現場到着 -メール- 定時 -メール- 電源オン -メール- 停電発生/復旧 -メール- 電池ニアエンド -メール- ノードエラー発生/復旧 -メール- 外部遮断発生/復旧 -メール- タンバ発生/復旧 -メール- 通信異常発生/復旧(バスセンサ) -メール- 全閉塞開始/終了 -メール- メモリエラー/登録エラー -メール- 電気錠ドア異常発生/復旧 -メール- 電話機フック外れ発生/復旧 -メール-
停電発生/復旧 -特定データ出カ- ノードエラー発生/復旧-特定データ出カ- 外部遮断発生/復旧-特定データ出カ- タンバ発生/復旧-特定データ出カ- 通信異常発生/復旧(バスセンサ)-特定データ出カ- 断線発生/復旧 -特定データ出カ- 全閉塞開始/終了-特定データ出カ- 入退転送異常-特定データ出カ- 電気錠ドア異常発生/復旧-特定データ出カ- 電話機フック外れ発生/復旧-特定データ出カ-
7000:エリア
エリア ID エリア名称【参照】 エリア略称【参照】 定時監視有無 定時間隔 開始ガード時間 解除ガード時間 警備出力先

9000: 接点入力

- 接点入力 T01-ch** センサ登録
- 接点入力 T01-ch** 対応エリア
- 接点入力 T01-ch** センサ名称【参照】
- 接点入力 T01-ch** センサ形態
- 接点入力 T01-ch** 検知時間
- 接点入力 T01-ch** 入力種別
- 接点入力 T01-ch** 復旧通報有無
- 接点入力 T01-ch** 通報先
- 接点入力 T01-ch** センサデータ通報先
- 接点入力 T01-ch** 1回発報
- 接点入力 T01-ch** 通話優先
- 接点入力 T01-ch** 未動作検知時間
- 接点入力 T01-ch** 警報出力先1
- 接点入力 T01-ch** 警報出力先2
- 接点入力 T01-ch** 警報出力先1停止
- 接点入力 T01-ch** 警報出力先2停止
- 接点入力 T01-ch** 発生信号コード(RTS の場合)
- 接点入力 T01-ch** 復旧信号コード(RTS の場合)
- 接点入力 T01-ch** 信号サブコード(RTS の場合)

12000: 接点出力

- 接点出力 T01-OR** 出力登録
- 接点出力 T01-OR** 接点名称【参照】
- 接点出力 T01-OR** 出力方法
- 接点出力 T01-OR** パルス出力時間
(パルス出力の場合)
- 接点出力 T01-OR** 出力形態

4-8. 登録項目の詳細設定

登録項目詳細はこの様な構成になっております。

登録項目の
一覧表です

項目	登録内容・他	出荷時設定
警備先物件ID	必須 数字12桁のみ(0~9、_)。 ※ テナントIDは、#でアンダーバーを設定できます。	全てアンダーバー
警備先物件名称	参照のみ	-
回線種別	必須 0:PB 1:DP10 2:DP20 3:ISDN	0:PB
自己電話番号	数字24桁まで(0~9)	なし
通報動作モード	標準 0:標準 1:RTS	0:標準

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

警備先物件ID
01-77777-____

登録例です

警備先物件名称
サクサ商事

[1000:基本項目]

■ (M) ボタンを押し「7:保守」-「2:登録」を選択して登録メニュー画面にて“1000”
と入力して (E) ボタンを押してください。

登録内容を記して
います

1) 警備先物件IDコード

通報時に使用する端末IDコードを登録します。数字12桁を入力して下さい。
★RTSモードの場合は下8桁が有効になります。

反転表示画面は、内容の表示のみで登録・変更はできません

電話番号等の可変長な設定データは、“0”キー長押しで設定内
容を消去することができます。

TS-MT0802A 送信機に本マニュアルに記載されていない登録項目がありますが
登録しても無効になりますので、本マニュアルの記載事項に沿って登録願います。

■1000. 基本項目

項目	登録内容・他	出荷時設定
警備先物件 ID	数字12桁のみ(0~9)	全てアンダーバー
警備先物件名称	参照のみ	—
回線種別	必須 0:PB 1:DP10 2:DP20 3:ISDN	0:PB
自己電話番号	数字24桁まで(0~9)	なし
自己電話サブアドレス	数字12桁まで(0~9) ※ISDN設定の場合	なし
通報動作モード	標準 0:標準 1:RTS	0:標準

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

警備先物件 ID

01-777777-_____

警備先物件名称
サクサ商事

回線種別

0:PB

自己電話番号

0311112222

自己電話
サブアドレス

0001

通報動作モード

0:標準

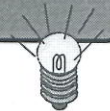
[1000:基本項目]

■ **M** ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“1000”と入力して **E** ボタンを押してください。

1) 警備先物件IDコード

通報時に使用する端末IDコードを登録します。数字12桁を入力して下さい。

顧客名称メッセージが録音されていない場合には、停電/停電復旧メッセージの頭に“こちらは×××番です”送出します。



2) 警備先物件名称

警備先物件名称を参照します。

3) 回線種別

回線種別を選択します。

0:PB 1:DP10 2:DP20 3:ISDN(設定不可)

4) 自己電話番号

送信機を接続する回線番号を設定します。24桁まで登録できます。

5) 自己電話サブアドレス(設定不要)

送信機を接続する回線のサブアドレスを設定します。12桁まで登録できます。

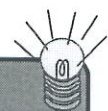
0~9

6) 通報動作モード

通報時の動作モードを選択します。

0:標準 1:RTS

『0:標準』を選択してください。



■ 2000. 通報先番号

項目	登録内容・他	出荷時設定
通報先A電話番号	数字24桁まで(0~9、*、ホ-ズ)	なし
通報先Aサブアドレス	不要 数字12桁まで(0~9)	なし
通報先B電話番号	数字24桁まで(0~9、*、ホ-ズ)	なし
通報先Bサブアドレス	不要 数字12桁まで(0~9)	なし
通報先C電話番号	数字24桁まで(0~9、*、#)	なし
通報先Cサブアドレス	不要 数字24桁まで(0~9、*、ホ-ズ)	なし
通報先D電話番号	数字24桁まで(0~9、*、ホ-ズ)	なし
通報先E電話番号	数字24桁まで(0~9、*、ホ-ズ)	なし
通報先A通信方式	音声 0:モデム 1:パケット 2:ユーザ(送達無) 3:ユーザ(送達有) 4:RTS-PB 5:TS-PB 6:RTS-UUI(なし) 7:RTS-UUI(あり) 8:VG-パケット 9:音声	0:モデム
通報先B通信方式	音声 0:モデム 1:パケット 2:ユーザ(送達無) 3:ユーザ(送達有) 4:RTS-PB 5:TS-PB 6:RTS-UUI(なし) 7:RTS-UUI(あり) 8:VG-パケット 9:音声	0:モデム
通報先C通信方式	音声 0:モデム 1:パケット 2:ユーザ(送達無) 3:ユーザ(送達有) 4:RTS-PB 5:TS-PB 6:RTS-UUI(なし) 7:RTS-UUI(あり) 8:VG-パケット 9:音声	0:モデム

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

通報先A
電話番号

通報先A
サブアドレス

通報先B
電話番号

通報先B
サブアドレス

[2000:通報先番号]

■ (M) ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“2000”
と入力して (E) ボタンを押してください。

1) 通報先A電話番号

通報先A電話番号を設定します。24桁まで登録できます。
0~9、*、#
IP 設定が可能です。
“#”キー長押しで設定します。

2) 通報先Aサブアドレス(設定不要)

通報先Aサブアドレスを設定します。12桁まで登録できます。
0~9

3) 通報先B電話番号

通報先B電話番号を設定します。24桁まで登録できます。
0~9、*、#

4) 通報先Bサブアドレス(設定不要)

通報先Bサブアドレスを設定します。12桁まで登録できます。
0~9

通報先C
電話番号

5) 通報先C電話番号
 通報先C電話番号を設定します。24桁まで登録できます。
 0～9、*、#

通報先C
サブアドレス

6) 通報先Cサブアドレス(設定不要)
 通報先Cサブアドレスを設定します。12桁まで登録できます。
 0～9

通報先D
電話番号

7) 通報先D電話番号(不応答時の音声通報)
 通報先D電話番号を設定します。24桁まで登録できます。
 0～9、*、#

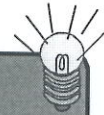
通報先E
電話番号

8) 通報先E電話番号(音声通報)
 通報先E電話番号を設定します。24桁まで登録できます。
 0～9、*、#

通報先A
通信方式
0: モデム

6) 通報先A通信方式
 通報先Aの通信方式を設定します。
 設定できる組み合わせは、以下になります。

『9: 音声』を選択してください。



通報先B
通信方式
0: モデム

7) 通報先B通信方式
 通報先Bの通信方式を設定します。
 (設定内容は通報先Aと同様です。)

通報先C
通信方式
0: モデム

8) 通報先C通信方式
 通報先Cの通信方式を設定します。
 (設定内容は通報先Aと同様です。)

■ 2001. 通報先その他

項目	登録内容・他	出荷時設定
定時発ID送信	0:定時通報標準、1:定時通報発ID	0:定時通報標準
ダイヤル自動切替	0:なし 1:あり	1:あり
特定データ通話優先	0:なし 1:あり	1:あり

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

通報先A
定時発ID送信
0:定時通報標準

ダイヤル自動切替

1:あり

特定データ
通話優先
1:あり

[2001:通報先その他]

■ (M) ボタンを押し「7:保守」-「2:登録」を選択して登録メニュー画面にて“2001”
と入力して(E) ボタンを押してください。

1) 定時発ID送信

データ通報先の定時通報設定を行います。(通報先A～Cまで設定します。)

0:定時通報標準(データ通報による定時監視を行います)

1:定時通報発ID(発信者番号通知サービスを利用して定時監視を行います)

2) ダイヤル自動切替

ダイヤル自動切替えを行うか設定します。

0:なし 1:あり

3) 特定データ通話優先

特定データの通話優先を設定します。

0:なし(強制切断) 1:あり

※ 呼び出し中のときは、回線を捕捉して一度切断します。
その後、通報を開始します。

■ 3000. 着信制限

項目	登録内容・他	出荷時設定
3000. 着信制限	0:なし 1~30:1~30回	10回
開始中着信回数	0:なし 1~30:1~30回	10回
ナンバーディスプレイ	0:なし 1:あり 2:あり(アダプタ)	0:なし
着信応答電話番号1~6	数字24桁まで	なし

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

解除中着信回数
03:03 回

開始中着信回数
03:03 回

ナンバー
ディスプレイ
0:なし

着信応答
電話番号1

[3000:着信制限]

■ **M** ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“3000”
と入力して **E** ボタンを押してください。

1)解除中着信回数

警備解除中の着信回数を設定します。

0:なし
1~30:1~30回

2)開始中着信回数

警備解除中の着信回数を設定します。

0:なし
1~30:1~30回

3)ナンバーディスプレイ

ナンバーディスプレイの接続設定をします。

0:なし 1:あり 2:あり(アダプタ)

※ 発信者番号で即時着信する場合に“あり”にします。

4)ナンバーディスプレイ“あり”にすると着信応答電話番号1~6を表示し、
発信者の番号を設定します。

■5000. 定時/回線切替

項目	登録内容・他	出荷時設定
定時代表/エリア別	0:代表1箇所 1:エリア毎	0:代表1箇所
回線切替有無	0:なし 1:あり	1:あり
回線切替暗証番号	8桁任意設定	1111
接点キーボックス種別	0:なし 1:ステータス 2:パルス	0:なし
回線断線中セット制限	0:なし 1:あり	0:なし

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

定時代表/
エリア別
0:代表1箇所

回線切替有無
1:あり

回線切替暗証番号

接点キーボックス
種別
2:パルス

回線断線中
セット制限
0:なし

[5000:定時/回線切替]

■ **M** ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“5000”
と入力して **E** ボタンを押してください。

- 1) 定時代表/エリア別
定時通報の監視方法を設定します。
0:代表1箇所(全テナントの状態で監視します)
※開始-解除間設定の場合:1社開始~全社解除まで
1:エリア毎(各テナント毎に監視します)
- 2) 回線切替有無
回線切替え機能の設定をします。(ダウンロードする際に本電話機着信後の切替えを行います)
0:なし 1:あり
- 3) 回線切替暗証番号
回線切替え機能を使用する場合の暗証番号(切替え番号)を設定します。
8桁任意設定
※ 本電話機側でお客様が電話に出られたあと、本装置に切り替えるための番号です。(回線が切り替わるまでオフフック状態にしてください)
コードは、“* XXXXXXXX 20 #”をダイヤルすると切り替わります。
→ 回線切替暗証番号
- 4) 接点キーボックス種別
接点型キーボックス設定を行います。
0:なし 1:ステータス 2:パルス
※ステータスを選択した場合、接点型キーボックスの入力状態が最優先になります。
- 5) 回線断線中セット制限
回線断線中の警備開始制限の設定をします。(断線中は警備開始状態になりません)
0:なし 1:あり

■ 6000. 特定データ通報先

項目	登録内容・他	出荷時設定
警備開始／解除／セットミス	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
強制開始／解除／セットミス	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
ホールドアップ解除	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
暗証番号エラー	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
未登録カード操作	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
電気錠施錠／解錠／ホールドアップ解錠	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
現場到着	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
定時	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
電源オン	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
停電発生／復旧	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
電池ニアエンド	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
ノードエラー発生／復旧	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
外部遮断発生／復旧	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
タンパ発生／復旧	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
通信異常発生／復旧(バスセンサ)	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
全閉塞開始／終了	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
メモリエラー／登録エラー	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了 ※全機器登録完了・登録完了の通報は 本設定を使用します。	なし、全通報
電気錠ドア異常発生／復旧	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
電話機フック外れ(断線通報含む)発生／復旧	通報先A、B、C、Eの中から選択、全通報/応答終了	なし、全通報
警備開始／解除／セットミス	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
強制開始／解除／セットミス	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
ホールドアップ解除	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
暗証番号エラー	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
未登録カード操作	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
電気錠施錠／解錠／ホールドアップ解錠	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
現場到着	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
定時	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
電源オン	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
停電発生／復旧	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
電池ニアエンド	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
ノードエラー発生／復旧	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
外部遮断発生／復旧	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
タンパ発生／復旧	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
通信異常発生／復旧(バスセンサ)	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
全閉塞開始／終了	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
メモリエラー／登録エラー	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択 ※全機器登録完了・登録完了の通報は 本設定を使用します。	0:なし
電気錠ドア異常発生／復旧	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
電話機フック外れ(断線通報含む)発生／復旧	メール通報先1、2、3、4、5の中から選択	0:なし
停電発生／復旧 ー特定データ出力ー	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
ノードエラー発生／復旧 ー特定データ出力ー	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
外部遮断発生／復旧 ー特定データ出力ー	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
タンパ発生／復旧 ー特定データ出力ー	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし

通信異常発生/復旧(バスセンサ) — 特定データ出力—	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
断線発生/復旧 — 特定データ出力—	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
全閉塞開始/終了 — 特定データ出力—	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
電気錠ドア異常発生/復旧 — 特定データ出力—	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
電話機フック外れ発生/復旧 — 特定データ出力—	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし

警備開始/解除/
セットミス
ABCE 終了方法
○ --- 全通報

【設定方法】

“A”の下の“—”部分で①ボタンを押すと“○”表示になり通報先Aが有効になります。
また、文字“A”の下で②ボタンを押すと“—”表示となり通報先Aは無効となります。
“全通報”部分で②ボタンを押すと“応答終了”に切り替わります。

“全通報”部分で②ボタンを押すと“応答終了”
“応答終了”部分で①ボタンを押すと“全通報”

①ボタンを押すと“○”表示になり通報先Aが有効
②ボタンを押すと“—”表示となり通報先Aは無効

警備開始/解除/
セットミス
12345メール

【設定方法】

“1”の下の“—”部分で①ボタンを押すと“○”表示になりメール通報先1が有効になります。
また、文字“1”の下で②ボタンを押すと“—”表示となりメール通報先1は無効となります。

①ボタンを押すと“○”表示になりメール通報先1が有効
②ボタンを押すと“—”表示となりメール通報先1は無効

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

警備開始/解除/
セットミス
ABCE 終了方法
○--- 全通報

強制開始/解除/
セットミス
ABCE 終了方法
○--- 全通報

ホールドアップ
解除
ABCE 終了方法
○--- 全通報

暗証番号エラー

ABCE 終了方法
○--- 全通報

未登録カード操作

ABCE 終了方法
○--- 全通報

電気錠施錠/解錠
/ホールドアップ解錠
ABCE 終了方法
○--- 全通報

現場到着

ABCE 終了方法
○--- 全通報

定時

ABCE 終了方法
○--- 全通報

[6000:特定データ通報先]

■ **M** ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“6000”
と入力して **E** ボタンを押してください。

1) 警備開始/解除

警備開始/解除/セットミスの通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

2) 強制開始/解除

強制警備開始/解除/セットミスの通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

3) ホールドアップ解除

ホールドアップ解除の通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

4) 暗証番号エラー

暗証番号エラー時の通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

5) 未登録カード操作

未登録カード操作時の通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

6) 電気錠施錠/解錠/ホールドアップ解錠

電気錠施錠/解錠/ホールドアップ解錠の通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

7) 現場到着

到着時の通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

8) 定時

定時の通報先を選択します。

0:なし 1:あり

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

電源オン
ABCE 終了方法
○--- 全通報

9)電源オン
電源立ち上げの通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

停電
発生/復旧
ABCE 終了方法
○--- 全通報

10)停電
停電発生/復旧の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

電池ニアエンド
ABCE 終了方法
○--- 全通報

11)電池ニアエンド
電池ニアエンドの通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

ノードエラー
発生/復旧
ABCE 終了方法
○--- 全通報

12)ノードエラー発生/復旧
ノードエラー発生/復旧の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

外部遮断
発生/復旧
ABCE 終了方法
○--- 全通報

13)外部遮断発生/復旧
外部遮断発生/復旧の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

タンパ
発生/復旧
ABCE 終了方法
○--- 全通報

14)タンパ発生/復旧
タンパ発生/復旧の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

通信異常発生/
復旧(バスセンサ)
ABCE 終了方法
○--- 全通報

15)通信異常発生/復旧(バスラインセンサ)
バスラインセンサの通信異常発生/復旧の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報
(※)本設定は動作には反映されず、通信異常発生/復旧の通報は各バスセンサの設定によります。

全閉塞
開始/終了
ABCE 終了方法
○--- 全通報

16)全閉塞開始/終了
センサ全閉塞開始/終了の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

メモリエラー/
登録エラー
ABCE 終了方法
○--- 全通報

17)メモリエラー/登録エラー
メモリエラー/登録エラー/登録完了/全機器登録完了の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

電気錠ドア異常
発生/復旧
ABCE 終了方法
0--- 全通報

18) 電気錠ドア異常発生/復旧
電気錠ドア異常発生/復旧の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

電話機フック外れ
発生/復旧
ABCE 終了方法
0--- 全通報

19) 電話機フック外れ(断線通報)発生/復旧
電話機フック外れ発生/復旧の通報先を選択します。
0:なし 1:あり
終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

警備開始/解除/
セットミス
12345メール

20) 警備開始/解除 メール通報有無
警備開始/解除/セットミスのメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり

強制開始/解除/
セットミス
12345メール

21) 強制開始/解除/セットミス メール通報有無
強制開始/解除/セットミスのメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり

ホールドアップ
解除
12345メール

22) ホールドアップ メール通報有無
ホールドアップのメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり

暗証番号エラー
12345メール

23) 暗証番号エラー メール通報有無
暗証番号エラーのメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり

未登録カード操作
12345メール

24) 未登録カード操作 メール通報有無
未登録カード操作のメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり

電気錠施錠/解錠
/ホールドアップ解錠
12345メール

25) 電気錠施錠/解錠/ホールドアップ解錠 メール通報有無
電気錠施錠/解錠/ホールドアップ解錠のメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり

現場到着
12345メール

26) 現場到着 メール通報有無
現場到着のメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり

<p>定 時</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>27) 定時 メール通報有無</p> <p>定時のメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>電源オン</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>28) 電源オン メール通報有無</p> <p>電源オンのメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>停電 発生/復旧</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>29) 停電発生/復旧 メール通報有無</p> <p>停電発生/復旧のメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>電池ニアエンド</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>30) 警電池ニアエンド メール通報有無</p> <p>電池ニアエンドのメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>ノードエラー 発生/復旧</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>31) ノードエラー発生/復旧 メール通報有無</p> <p>ノードエラー発生/復旧のメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>外部遮断 発生/復旧</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>32) 外部遮断発生/復旧 メール通報有無</p> <p>外部遮断発生/復旧のメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>タンパ 発生/復旧</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>33) タンパ発生/復旧 メール通報有無</p> <p>タンパ発生/復旧のメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>通信異常発生/ 復旧(バスセンサ)</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>34) 通信異常発生/復旧(バスセンサ) メール通報有無</p> <p>警備開始/解除/セットミスのメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>
<p>全閉塞 開始/終了</p> <p>12345メール</p> <p>-----</p>	<p>35) 警備開始/解除 メール通報有無</p> <p>警備開始/解除/セットミスのメール通報先を選択します。</p> <p>0:なし 1:あり</p>

- | | |
|---|---|
| メモリーエラー／
登録エラー
12345メール
----- | 36)メモリーエラー／登録エラー メール通報有無
メモリーエラー／登録エラー／登録完了／全機器登録完了のメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり |
| 電気錠ドア異常
発生／復旧
12345メール
----- | 37) 電気錠ドア異常発生／復旧 メール通報有無
電気錠(ドア)異常 発生／復旧 メール通報先を選択します。
0:なし 1:あり |
| 電話機フック外れ
発生／復旧
12345メール
----- | 38)電話機フック外れ発生／復旧 メール通報有無
電話機フック外れ発生／復旧のメール通報先を選択します。
0:なし 1:あり |
| 停電
発生／復旧
-特定データ出力-
0:なし | 39)停電発生／復旧
停電発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2 |
| ノードエラー
発生／復旧
-特定データ出力-
0:なし | 40)ノードエラー発生／復旧
ノードエラー発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2 |
| 外部遮断
発生／復旧
-特定データ出力-
0:なし | 41)外部遮断発生／復旧
外部遮断発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2 |
| タンパ
発生／復旧
-特定データ出力-
0:なし | 42)タンパ発生／復旧
タンパ発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2 |
| 通信異常発生／
復旧(バスセンサ)
-特定データ出力-
0:なし | 43)通信異常発生／復旧(バスラインセンサ)
バスラインセンサ通信異常発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2 |
| 断線
発生／復旧
-特定データ出力-
0:なし | 44)断線発生／復旧
断線発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2 |

全閉塞
開始／終了
-特定データ出力-
0:なし

45)全閉塞開始／終了
全閉塞開始／終了時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2
(※TS-MT0802 では全閉塞での出力は行ないません)

入退転送異常
-特定データ出力-
0:なし

46)入退転送異常発生／復旧
入退データファイルが送信できない場合に出力されます。
0:なし 1:OR1 2:OR2

電気錠ドア異常
発生／復旧
-特定データ出力-
0:なし

47)電気錠ドア異常発生／復旧
電気錠ドア異常発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2

電話機フック外れ
発生／復旧
-特定データ出力-
0:なし

48)電話機フック外れ発生／復旧
電話機フック外れ発生／復旧時の出力先を選択します。
0:なし 1:OR1 2:OR2
(※TS-MT0802 では電話機フック外れでの出力は行ないません)

■7000. エリア

項目	登録内容・他	出荷時設定
エリア名称	参照のみ	
エリア略称	参照のみ	
定時監視有／無	0:なし 1:常時 2:開始中のみ	0:なし
定時間隔	30分～1日(30分ステップ)、1日～62日(1日ステップ)	30分
開始ガード時間	1秒ステップで1秒～300秒まで	120秒
解除ガード時間	1秒ステップで1秒～300秒まで	120秒
警備出力先1、2	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
エリアID	下4桁のみ入力可能	

LCD表示

[登録メニュー画面]

登録番号を
入力して下さい

エリア1
エリア名称
サクサ商事

エリア1
エリア略称
サクサ商事

エリア1
定時監視有無
0:なし

エリア1
定時間隔
__日_時_分

エリア1
開始ガード時間
010:10sec

[7000:エリア]

■ **M** ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“7000”
と入力して **E** ボタンを押してください。

1) エリア名称
エリア名称を参照します。

2) エリア略称
エリア略称を参照します。

3) 定時監視有／無
定時監視のする／しないの設定をします。
0:なし 1:常時 2:開始中のみ

4) 定時間隔
定時監視の間隔を設定します。
30分～1日(30分ステップ)、1日～62日(1日ステップ)
※時、分が入力してあると、日の入力はできません。
日の所が入力してあると、時、分の入力はできません。
入力時は、入力しない方に0を入力してから、入力側の日及び時、分を入力します。

5) 開始ガード時間
警備開始時のガード時間を設定します。
1秒ステップで1秒～300秒まで

エリア1
解除ガード時間
010:10sec

- 6)解除ガード時間
警備開始時のガード時間を設定します。
1秒ステップで1秒～300秒まで

エリア1
警備出力先1
0:なし

- 7)警備出力先1、2
警備開始／解除時の外部出力の設定をします。
0:なし 1:OR1 2:OR2

エリア2
エリアID
01-77777-0002

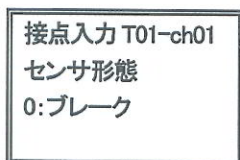
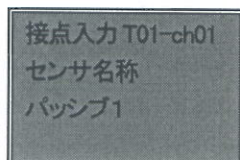
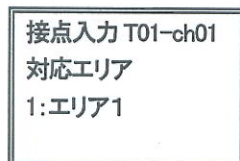
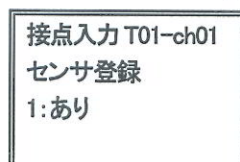
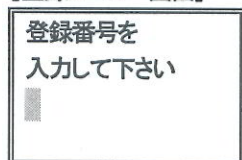
- 8)エリアID
エリアID(警備先ID)の設定をします。
※エリアID設定(エリア2～5迄)
下4桁のみ入力できます。

■9000. 接点入力

項目	登録内容・他	出荷時設定
センサ登録	あり 0:なし 1:あり	0:なし
対応エリア	1設定 1～5を登録	1:エリア1
センサ名称	参照のみ	
センサ形態	0:ブレーク 1:メーク	0:ブレーク
検知時間	0:なし 1:1ms 2:300ms 3:秒入力 4:1分 5:5分 6:10分	2:300ms
入力種別	0:24時間 1:警備中 2:ガード付き 3:開始/解除	0:24時間
復旧通報有無	0:なし 1:あり	1:あり
通報先	必須 0:なし 1:あり 終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報	なし、全通報
1回発報	0:なし 1:あり	0:なし
通話優先	0:なし(強制切断) 1:あり	1:あり
未動作監視時間	不要 未動作監視なし/**日**時**分	未動作監視なし
警報出力先1、2	0:なし 1:OR1 2:OR2	0:なし
警報出力先1、2停止	0:なし 1:あり	0:なし
発生信号コード	不要 000～999(RTS-PBの場合は制約有) ※ RTSモード設定の場合	_____
復旧信号コード	不要 000～999(RTS-PBの場合は制約有) ※ RTSモード設定の場合	_____
信号サブコード	不要 00～99 ※ RTSモード設定の場合	_____

LCD表示

[登録メニュー画面]



[9000:接点入力]

■ **M** ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“9000”と入力して**E** ボタンを押してください。

1)センサ登録
CH1の登録する/しないの設定をします。
0:なし 1:あり

2)対応エリア
対応エリアを設定します。
1を登録

3)センサ名称
センサ名称を参照します。

4)センサ形態
センサ形態を選択します。
0:ブレーク 1:メーク
※ センサ種別を“開始/解除”にした場合、ブレークセンサはブレーク時、メークセンサはメーク時が警備解除状態となります。

接点入力 T01-ch01
検知時間
2:300ms

5) 検知時間

センサ検知時間を選択します。

0:なし 1:1ms 2:300ms 3:秒入力 4:1分 5:5分 6:10分



1msはCH1のみ有効で他のCHでは300msで動作します
本体による登録の場合、秒入力時は、1秒固定となります。

接点入力 T01-ch01
入力種別
1:警備中

6) 入力種別

センサの監視種別を選択します。

0:24時間 1:警備中 2:ガード付き 3:開始/解除

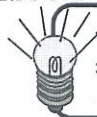
※ “3. 開始/解除” 選択時は、特定データの“開始/解除” 通報先に発報します。

接点入力 T01-ch01
復旧通報有無
1:あり

7) 復旧通報有無

復旧通報の有/無を設定します。

0:なし 1:あり



チャンネルメッセージの後に“発生しました”、“復旧しました”
を出力する場合は1:ありに設定します。

接点入力 T01-ch01
通報先
ABCE 終了方法
0--- 全通報

8) 通報先

通報先を選択します。

0:なし 1:あり



○印が通報する通報先になります。

終了方法の選択は、0:応答終了 1:全通報

接点入力 T01-ch01
センサデータ通報先
12345メール

9) メール通報先

メール通報先を選択します。

0:なし 1:あり

接点入力 T01-ch01
1回発報
0:なし

10) 1回発報

1回発報の選択をします。

0:なし 1:あり



1回発報を選択すると開始-解除間で1回の通報のみ行います。

接点入力 T01-ch01
通話優先
1:あり

11) 通話優先

通話優先の選択をします。

0:なし(強制切断) 1:あり

※ “なし”に設定すると後段に接続されている電話機が通話中でも、一旦切って、
通報動作を行います。

接点入力 T01-ch01
未動作監視時間
_:未動作監視なし

12) 未動作監視時間

センサが未動作かどうかの監視を設定します。

30分~24時間(30分ステップ)、1日~62日(1日ステップ)

未動作監視なし(“0”キー長押し)/**日**時**分

接点入力 T01-ch01
警報出力先1
0:なし

13) 警報出力先1、2

警報出力先を選択します。(警報出力先1、2)

0:なし 1:OR1 2:OR2

接点入力 T01-ch01
警報出力先1停止
0:なし

14) 警報出力先1、2停止

警報出力の停止方法を設定します。(警報出力先1、2)

0:なし 1:あり

接点入力 T01-ch01
発生信号コード

- 15) 発生信号コード(設定不要)
CH警報時の信号コードを設定します。

接点入力 T01-ch01
復旧信号コード

- 16) 復旧信号コード(設定不要)
CH復旧時の信号コードを設定します。

接点入力 T01-ch01
信号サブコード

--

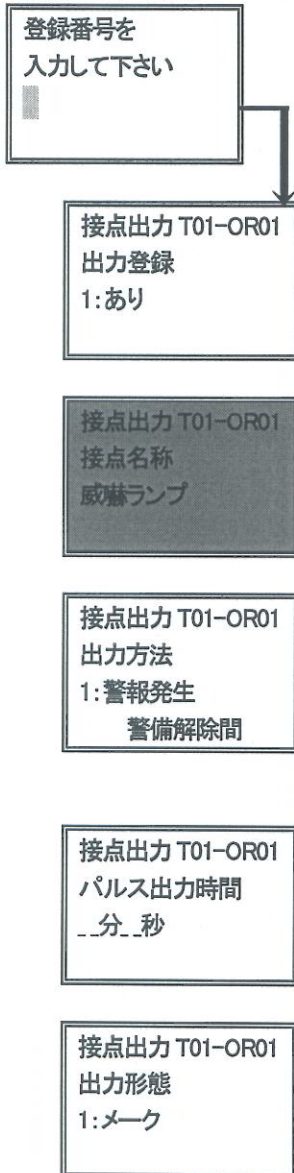
- 17) 信号サブコード(設定不要)
CH信号コード送信時に付加するセンサIDを設定します。

■12000. 接点出力

項目	登録内容・他	出荷時設定
出力登録	0:なし 1:あり	0:なし
接点名称	参照のみ	
出力方法	1:警報発生ー警備解除間 2:警報発生ー復旧間(注意:復旧通報がない場合には、センサが復旧しても出力は OFF しません) 3:警報発生後連続 4:警報時パルス出力 5:警備解除ー開始間 6:警備解除時パルス出力 7:警備開始ー解除間 8:警備開始時パルス出力 9:警備開始・解除時パルス出力	1:警報発生ー警備解除間
パルス出力時間	1秒～60秒(1秒ステップ)、1分～60分(1分ステップ) ※警報時パルス出力設定の場合	0秒
出力形態	0:ブレーク 1:メーク	1:メーク

LCD表示

[登録メニュー画面]



[12000:接点出力]

■ **M** ボタンを押し『7:保守』-『2:登録』を選択して登録メニュー画面にて“12000”と入力して **E** ボタンを押してください。

- 1)出力登録
接点出力(OR01)の登録する/しないの設定をします。
0:なし 1:あり
- 2)接点名称
接点出力名称を参照します。
- 3)出力方法
出力方法を設定します。
1:警報発生ー警備解除間
2:警報発生ー復旧間
(復旧通報がない場合には、センサが復旧しても出力は OFF しません)
3:警報発生後連続 4:警報時パルス出力 5:警備解除ー開始間
6:警備解除時パルス出力 7:警備開始ー解除間 8:警備開始時パルス出力
9:警備開始・解除時パルス出力
- 4)パルス出力時間
出力時間を設定します。 ※警報時パルス出力設定の場合
1秒～60秒(1秒ステップ)、1分～60分(1分ステップ)
- 5)出力形態
出力形態を設定します。
0:ブレーク 1:メーク

5. 保守編

5-1. 通報履歴の確認

通報履歴を100件まで表示することができます。

警備解除

- ① 通報動作を行っていないことを確認して下さい。
通常画面が表示されていることを確認してください。(出荷時状態)

設定項目 1/3
1:ボリューム
2:コントラスト
3:バックライト

- ② M ボタンを押します。
③ ▼ ▲ ボタンで項目『7:保守』までカーソルをあわせませす。

設定項目 2/3
4:ボタン確認音

- ④ カーソルをあわせたら E ボタンを押してください。
暗証番号の入力を要求されますので設定した保守操作で確定します。

設定項目 2/3
5:強制操作
6:巡回(現着)
7:保守

保守 1/3
1:点検
2:登録
3:履歴

- ⑤ ▼ ▲ ボタンで項目『3:履歴』までカーソルをあわせ E ボタンを押してください。

日時分	内容
011730	01T01011
011729	01C02691
011728	05T01611

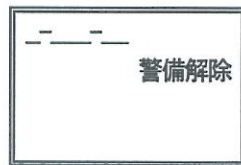
- ⑥ 表示させたい通報履歴に ▼ ▲ ボタンでカーソルをあわせたら E ボタンを押してください。

[画面の説明]

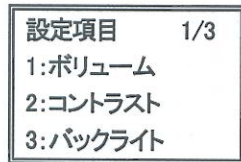
日時分	日時分 内容 ▼	略称(登録器にて登録)
エリア	011730 01 T01011	信号名称
信号コード	011729 01 C02691	起動時刻(月日時分)
	011728 05 T01611	通報終了
		通報状況

※通報時間を正確に確認する場合には、5-2項の日時設定を行ってください。

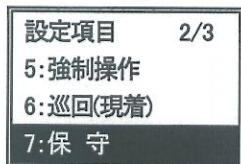
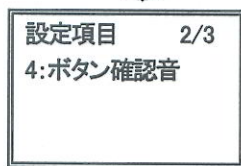
5-2. 日時設定



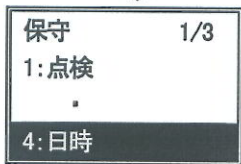
① 通報動作を行っていないことを確認して下さい。
通常画面が表示されていることを確認してください。(出荷時状態)



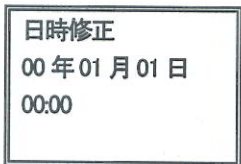
② M ボタンを押します。
③ ▼ ▲ ボタンで項目『7:保守』までカーソルをあわせませす。



④ カーソルをあわせたら E ボタンを押してください。
暗証番号の入力を要求されますので設定した保守操作で確定します。



⑤ ▼ ▲ ボタンで項目『4:日時』までカーソルをあわせ E ボタンを押してください。



⑥ “現在の時刻を入力してください。
通報履歴の通報時間の確認に有効です。”

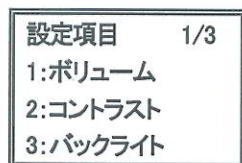
5-3. 機器設定

以下の設定内容が変更できます。

- ① 停電時間の検知時間の設定(デフォルト:1分)⇒設定変更で300ms(停電時即検知)
- ② センサ表示の表示方法の切替(デフォルト:発報履歴表示・・・通報時に点滅にて履歴を表示(Oボタン押下で復旧)
⇒センサ同期表示・・・センサ異常時点灯、復旧時消灯

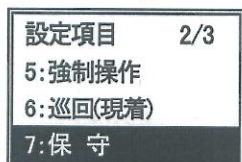
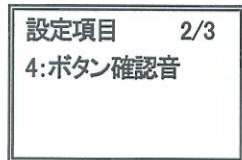


- ① 通報動作を行っていないことを確認して下さい。
通常画面が表示されていることを確認してください。(出荷時状態)

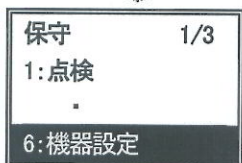


- ② M ボタンを押します。
- ③ V ▲ ボタンで項目『7:保守』までカーソルをあわせませす。

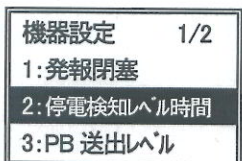
設定項目の1～4は、設置環境に合わせて設定してください。



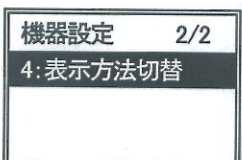
- ④ カーソルをあわせたら E ボタンを押してください。
暗証番号の入力を要求されますので設定した保守操作で確定します。



- ⑤ V ▲ ボタンで項目『6:機器設定』までカーソルをあわせ E ボタンを押してください。

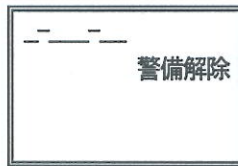


- ⑥ 停電検知レベル時間にカーソルをあわせたら E ボタンを押してください。
停電検知時間(変更後再起動が必要です)
0:1分間連続で停電とみなす 1:300msで停電とみなす

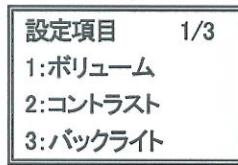


- ⑦ 表示方法切替にカーソルをあわせたら E ボタンを押してください。
表示方法(変更後再起動が必要です)
0:発報履歴表示 1:センサ同期表示
発報履歴表示・・・センサの通報は行われ、センサランプが点滅状態を保持します。
Oボタン押下で復旧します。
センサ同期表示・・・センサ異常時に点灯、復旧時に消灯になります。
メーク設定の場合:ショート時点灯、オープン時消灯
ブレーク設定の場合:ショート時消灯、オープン時点灯

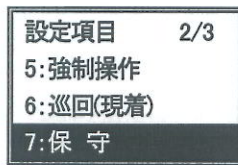
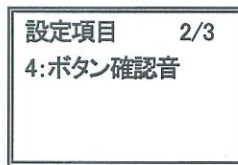
5-4. データの初期化



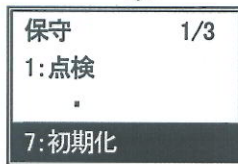
① 通報動作を行っていないことを確認して下さい。
通常画面が表示されていることを確認してください。(出荷時状態)



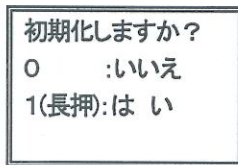
② M ボタンを押します。
③ ▼ ▲ ボタンで項目『7:保守』までカーソルをあわせませす。



④ カーソルをあわせたら E ボタンを押してください。
暗証番号の入力を要求されますので設定した保守操作で確定します。



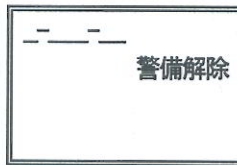
⑤ ▼ ▲ ボタンで項目『7:初期化』までカーソルをあわせ E ボタンを押してください。



⑥ “初期化しますか”と聞いてきますので、“1”ボタンを長押しします。
“初期化実行中”の表示になり、自動でリセットされます。

- ・初期化を行う際は、必ずAC100V通電中に行ってください。停電中に行いますとメモリを壊してしまい、再起動しなくなる可能性があります。
- ・IPアドレスが初期化(192.168.1.110)されますので、同一LAN上に同じアドレスの機器がないことを確認してください。同一アドレス機器が存在すると正常に動作しなくなります。
- ・警備状態は解除になります。
- ・発報履歴・入退出管理情報も初期化されます。
- ・録音した音声メッセージは初期化されません。
- ・ボリューム・コントラスト・バックライト・ボタン確認音は標準的なレベルになります。
- ・初期化後の保守用暗証番号は、“0000001”になります。

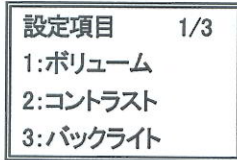
5-5. 各種設定



① 通報動作を行っていないことを確認して下さい。
通常画面が表示されていることを確認してください。(出荷時状態)

② **M** ボタンを押します。

③ **▽** **▲** ボタンで項目『ボリューム／コントラスト等』にカーソルをあわせませす。



1: ボリューム (スピーカからのガイダンスの音量を調整します)

▲: ボリュームを上げます。 **▽**: ボリュームを下げます。

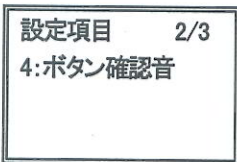
2: コントラスト (液晶のコントラストを調整します)

▲: コントラストを上げます。 **▽**: コントラストを下げます。

3: バックライト (バックライトの点灯時間を設定します)

▲: 設定時間を上げます。 **▽**: 設定時間を下げます。

(OFF / 操作後10s / 30s / 60s / 90s / 120s / 180s / ON)



4: ボタン確認音

▲: ボタン操作時に音を鳴らします。 **▽**: ボタン操作時に音は鳴らしません。

6. 基本仕様

項目	内容		備考
適用回線	電話回線:アナログ回線、IP網:Ethernet網		
収容回線数	1回線		
通信方式	音声通報(不定メッセージ/固定メッセージ)		
回線選択方式	DP10/DP20/PB		
ダイヤル	電話番号は最大24桁 電話回線:ポーズ時間:“(1ポーズ=約2秒)”		
通報先	4ヶ所通報(A, B, C, E)不応答時の通報:D 終了方法は「応答終了」/「全通報」の選択が可能 ※通報先切替ありの場合には、4ヶ所の切替通報(a, b, c, e)不応答時の通報:dが可能です。		『D通報』は不応答時のみの通報します
音声録音	センサ用8データ、監視名称1データの不定メッセージが録音できます。 各データとも最大8秒まで録音可能です。		音声通報設定があり時のみ、不定フレーズによる音声通報となります
メッセージ送出回数	リバースあり時:2回 リバースなし時:10回		
メール通報先	最大5ヶ所		別途登録ソフトが必要です
回線断線検出	電話回線:常時監視 <断線検出電圧は、20V以上とする>		
停電検出時間	停電検出は、1分間検出/300mS検出(設定による)停電復旧は、4秒検出		
発信者番号チェック	あり(電話回線の場合はナンバーディスプレイサービスによる)		6件まで登録可能
LANポート	10BASE-T/100BASE-TX		
通信プロトコル	TCP/IP、ICMP、ARP、FTP		
接点入力	入力数	8ch	
	接続形態	端子台ネジ止め	
	入力方式	無電圧接点入力	
	線路抵抗	300Ω以下	
	センサ種別	24時間センサ/SCセンサ/ガードセンサ	
	センサ形態	メーク/ブレーク	
	検知時間	1mS、300mS、1~10S、1M、5M、10M (但し、1mSセンサはch1のみとする)	
	未動作検知	30分~23時間30分、1日~62日(ステップ:1日)	
接点出力	出力数	2ch	
	接続形態	スクリューレス端子台	
	出力方式	無電圧接点出力(ラッチングリレー)	
	出力形態	パルス/ステータス(メーク/ブレーク)	
	出力時間	1~10S、連続、解除操作まで連続 (起動時は前状態保持)	
	接点定格	24V/0.5A	
停電保証	30分2回発報(最大負荷時、電池満充電時)		
外部供給電源	DC12V 300mA		
消費電力	待機時:10VA 動作時:15VA		
重量	約1.6kg(バッテリー含む)		
寸法	290(W)×200(H)×62(D)mm		
電源	AC100/200V±10%		
内部処理データ	定時		

(信号名称)	<p>電源オン 停電発生／停電復旧 タンパ発生／タンパ復旧 試験 外部電源遮断／外部電源復旧 電池ニアエンド 警備開始／解除／セットミス 暗証番号エラー 未登録カード操作 電気錠施錠／解錠 ノードエラー発生／ノードエラー復旧 回線断線／断線復旧 電話機フック外れ発生／電話機フック外れ復旧</p>	
登録／保守	<p>各種登録機能(電話番号、通報先、センサ情報等) メンテナンス機能 強制開始解除操作 回線チェック 機器チェック 入力状態チェック センサ状態リアルタイム表示 センサ閉塞 出力制御 発報履歴表示 時計時刻修正</p>	

7. トラブルシューティング

項番	トラブル内容	対 策	備 考
1	特定のチャンネルの音声通報がうまくできない	登録番号9000:接点入力でセンサ登録“あり”に設定してください。	
2	通報がいかない	①登録番号2000:通報先電話番号の設定(電話番号/通報方式)を確認してください。通報方式は、9:音声に設定してください。 ②登録番号1000:回線種別(PB/DP)と接続回線の種別を確認してください。 ③音声通報設定(4-4 項)で、リバース設定“あり”に設定してください	
3	チャンネル通報で発生/復旧を送りたい。	登録番号9000:接点入力で、復旧通報“あり”に設定してください。	
4	停電/停電復旧通報をさせたい	登録番号6000:特定データ通報先で停電/停電復旧の通報先に“0”を設定してください。	
5	音声録音の録音方法は	テンキーの“1”を押しながら、電源スイッチをONさせてください 不定フレーズ録音の表示が出るまで“1”を押し続けたままお待ちください。	
6	昼/夜の通報先を切り替えたい	音声通報設定(4-4 項)で、通報切替機能を“あり”に設定してください。通報切替通報先の設定および通報方式を“音声”に設定してください。 8chの入力状態で、昼/夜切替が可能です。	
7	内線に接続し、外線発信をしたい	音声通報設定(4-4 項)で、リバース設定を“なし”設定してください。	
8	警報出力の設定をしたい	登録番号9000:接点入力で警報出力先の設定および 登録番号12000:接点出力で出力チャンネルの設定を行ってください。	
9	着信応答時、自己診断機能を使いたい	音声通報設定(4-4 項)で、自己診断応答“あり”に設定してください。 着信回数については、登録番号3000:着信制限で開始中/解除中の着信回数を設定してください。初期値は、10回(10コール)です	